

IBM WebSphere Commerce



ToolTech Sample Store: Online Help Files

Version 5.4

IBM WebSphere Commerce



ToolTech Sample Store: Online Help Files

Version 5.4

ご注意

本書の情報およびそれによってサポートされる製品をご使用になる前に、99 ページの『特記事項』に記載されている一般情報をお読みください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： IBM WebSphere Commerce
ToolTech Sample Store: Online Help Files
Version 5.4

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第3刷 2002.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1996, 2002. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

目次


第 1 章 Sample stores	1
サンプル・ストア	1
ToolTech サンプル・ストア (Business Edition)	1
第 2 章 Setting up a sample store	3
サンプル・ストアのセットアップ	3
第 3 章 Creating a store using a sample	5
サンプルを使用したストアの作成	5
サンプル・ストア・アーカイブの作成	5
ストア・データベース資産の変更	6
Web 資産の変更	19
ストア・サービスからのサンプル・ストア・アーカイブの発行	19
コマンド行を使用したストア・アーカイブの発行 (Windows).	21
ストアのための Payment Manager のセットアップ	23
サンプル・ストア用のスケジュールされたジョブの作成	24
サンプル・ストアの E メール通知の構成	26
ToolTech のアカウント・ベースのキャンペーンの作成 (Business Edition)	28
ToolTech への組織のロゴの追加 (Business Edition)	29
第 4 章 Sample store database assets	31
ストア・データベース資産	31
サンプル・ストアのアクセス制御データベース資産	32
ToolTech 配送データベース資産 (Business Edition)	33
ToolTech カタログ・データベース資産 (Business Edition)	35
ToolTech 契約、ビジネス・アカウント、およびビジネス・ポリシー・データベース資産 (Business Edition)	36
ToolTech 組織データベース資産 (Business Edition)	38
ToolTech サンプル・ストアの組織 (Business Edition)	38
ToolTech サンプル・ストアの購入オーダー (Business Edition)	39
ToolTech サンプル・ストアの契約とアカウント (Business Edition)	39
第 5 章 ToolTech store pages.	43
ToolTech ストア・ページ (Business Edition)	43
ToolTech 住所録ページ (Business Edition)	45
ToolTech 検索ページ (Business Edition)	47
ToolTech 請求先および配送先の情報ページ (Business Edition)	48
ToolTech メイン・カテゴリー・ページ (Business Edition)	50
ToolTech 商品表示ページ (Business Edition)	50
ToolTech サブカテゴリー・ページ (Business Edition)	51
ToolTech ホーム・ページ (Business Edition)	52
ToolTech 確認ページ (Business Edition)	53
ToolTech 商品表示ページ (Business Edition)	54
ToolTech エラー・ページ (Business Edition)	55
ToolTech - ヘッダー (Business Edition)	56
ToolTech ログオン・ページ (Business Edition)	58
ToolTech - 左側のナビゲーション・フレーム (Business Edition)	60
ToolTech オーダー要約ページ (Business Edition)	62
ToolTech オーダー状況ページ (Business Edition).	65

ToolTech	オーダー状況コード (Business Edition)	67
ToolTech	お客様のオーダー・ページ (Business Edition)	67
ToolTech	クイック・オーダー・ページ (Business Edition)	69
ToolTech	登録ページ (Business Edition)	70
ToolTech	既存の要求リストへの追加ページ (Business Edition)	73
ToolTech	新規要求リスト・ページ (Business Edition)	74
ToolTech	要求リストの表示ページ (Business Edition)	76
ToolTech	要求リスト・ページ (Business Edition)	77
ToolTech	ToolTech 要求リストの編集ページ (Business Edition)	78
	サンプル・ストア・ページ: 共通インプリメンテーション手法	80
ToolTech	コラボレイティブ・ワークスペース・ページ (Business Edition)	82
ToolTech	コラボレイティブ・ワークスペース・メンバー・ページ (Business Edition)	83
第 6 章 ToolTech use cases		85
ToolTech	サンプル・ストアの使用事例 (Business Edition)	85
	登録済み顧客によるログオンの使用事例 (Business Edition)	85
	新規顧客登録の使用事例 (Business Edition)	86
	バイヤー承認の使用事例 (Business Edition)	87
	個人情報更新の使用事例 (Business Edition)	87
	新規住所追加の使用事例	88
	住所編集の使用事例 (Business Edition)	89
	新規要求リスト作成の使用事例 (Business Edition)	90
	要求リストへのアイテムの追加の使用事例 (Business Edition)	90
	要求リストからのアイテム除去の使用事例 (Business Edition)	91
	アイテム追加の使用事例 (Business Edition)	92
	SKU を使用したオーダー作成の使用事例 (Business Edition)	92
第 7 章 ToolTech troubleshooting		95
ToolTech	サンプル・ストアのトラブルシューティング (Business Edition)	95
	特記事項	99

第 1 章 Sample stores

サンプル・ストア


WebSphere Commerce では、いくつかのサンプル・ストアが提供されています。これらのストアをベースにして、独自のストアを作成することができます。各ストアは、最近の大手小売サイトで見られる機能が表示されるように設計されています。WebSphere Commerce で提供されているサンプル・ストアは以下のとおりです。

- InFashion。企業顧客間のオンライン・ファッション・ストア。
- WebFashion。さらに機能が強化された、企業顧客間のオンライン・ファッション・ストア。
- WebAuction。企業顧客間のオンライン・オークション・ストア。
- NewFashion。新機能を持つ、企業顧客間のオンライン・ファッション・ストア。
-  Business ToolTech。企業間のオンライン・ハードウェア提供ストア。

それぞれのサンプル・ストアはストア・アーカイブとして WebSphere Commerce にパッケージ化されているため、個別にインストールする必要はありません。各サンプル・ストアを表示するのに必要なのは、ストア・サービス・ツールを使用してそのサンプル・ストアに基づく新規ストア・アーカイブを作成してから、そのアーカイブを WebSphere Commerce サーバーに発行するだけです。詳しくは、ストア・サービスを使用したストア・アーカイブの作成を参照してください。

WebSphere Commerce でのストアの作成では、サンプルのストア・アーカイブを選択してから修正することが基本になっているため、すべてのサンプル・ストアは、どのようなストアのベースとしても機能するように設計されています。サンプル・ストアは、典型的なショッピング・フローに基づいています。すべてのサンプル・ストア・ページはカスタマイズできます。

ToolTech サンプル・ストア (Business Edition)

 Business ToolTech は、WebSphere Commerce とともに提供される、企業間 (B2B) のオンライン・ハードウェア・ストアです。ToolTech はバイヤーがセラーの e-commerce サイトで実行できるタスクを特色とします。ToolTech サンプル・ストアに組み込まれているフィーチャーのいくつかを以下に示します。

- 契約ベースの購入
- 要求リスト
- 契約ベースの価格設定
- RFQ の作成
- オーダーおよびバック・オーダーの分割
- 複数の配送先住所
- 重量ベースの配送
- 商品の検索機能
- バイヤーの登録
- コラボレイティブ・ワークスペース
- カスタマー・ケア
- ストアへの組織のロゴの追加
- アカウント・ベースのキャンペーン

ToolTech ストアは、機能的な B2B オンライン・ストアに必要なページおよびフィーチャーをすべて装備しています。 ToolTech はストア・アーカイブとして WebSphere Commerce 内にパッケージされているため、個別にインストールする必要はありません。各サンプル・ストアを表示するのに必要なのは、ストア・サービス・ツールを使用して ToolTech に基づく新規ストア・アーカイブを作成してから、そのアーカイブを WebSphere Commerce サーバーに発行するだけです。詳しくは、以下の関連リンクを参照してください。

WebSphere Commerce では、通常、サンプルのストア・アーカイブを選択し、それを修正して、ストアを作成するため、ToolTech は、作成するストアのベースとして機能するように設計されています。これは、典型的なショッピング・フローに基づいています。サンプル・ストア・ページはカスタマイズ可能です。必要なデータをロードするために、すべての ToolTech サンプル・ストア・ページで JavaServer Pages および XML が使用されます。 ToolTech ページは、WebSphere Commerce のすべてのページで使用可能なキャッシュ・コマンドの機能に加えて、ユーザー・タイプ、状態、および役割に基づいてキャッシュに入れられます。

第 2 章 Setting up a sample store

サンプル・ストアのセットアップ

サンプル・ストアを発行した後、そのストアの全機能を稼働させるために、追加のステップを実行することが必要になる可能性があります。このページには、各サンプル・ストアをセットアップするために必要なステップがリストされています。

NewFashion のセットアップ

発行後、NewFashion ストアをセットアップするには以下のステップが必要です。

- サンプル・ストア用のスケジュールされたジョブの作成
- サンプル・ストア用の E メール通知の構成

注: NewFashion ストアのカスタマー・ケア・コラボレーション・フィーチャーを使用する場合には、まず Lotus Sametime をインストールする必要があります。Lotus Sametime のインストールの詳細は、*IBM WebSphere Commerce 追加ソフトウェアのガイド* を参照してください。カスタマー・ケアを使用するための NewFashion の構成の詳細は、以下の関連タスクを参照してください。

WebFashion のセットアップ

発行後、WebFashion ストアをセットアップするには以下のステップが必要です。

- サンプル・ストア用のスケジュールされたジョブの作成
- サンプル・ストア用の E メール通知の構成
- WebFashion での割引の作成
- WebFashion でのマーケティング・キャンペーンの作成
- WebFashion の新しいストア所有者の作成

InFashion のセットアップ

発行後、InFashion ストアをセットアップするには以下のステップが必要です。

- サンプル・ストア用のスケジュールされたジョブの作成
- サンプル・ストア用の E メール通知の構成

WebAuction のセットアップ

発行後、WebAuction ストアをセットアップするには以下のステップが必要です。

- ストアのための Payment Manager のセットアップ
- オークションの使用可能化
- サンプル・ストア用のスケジュールされたジョブの作成
- サンプル・ストア用の E メール通知の構成
- 割引の作成
- マーケティング・キャンペーンの作成
- 新しいストア所有者の作成

 ToolTech のセットアップ

ToolTech ストアを発行する前に、Payment Manager をインストールして実行する必要があります。発行後、ToolTech ストアをセットアップするには以下のステップが必要です。

- ストアのための Payment Manager のセットアップ (発行の際に Payment Manager を実行するのを忘れた場合のみ。)
- 組織の承認タイプの選択 (バイヤーおよびオーダー承認)
- RFQ 取引メカニズムの使用可能化と使用不能化
RFQ 通知メッセージの使用可能化
- WebSphere Commerce での LDAP の使用 (LDAP 用に構成した場合)
- 組織の作成 (2 回目の発行の際に新しい組織を作成したい場合)

注:発行の際に Payment Manager がインストールされていない、または実行されていない場合は、Payment Manager に構成されているブランド・タイプがクレジット・カードに関する契約 3456 で指定されているブランド・タイプと一致しなければなりません。


注: ToolTech ストアのコラボレーション・フィーチャーを使用する場合には、まずカスタマー・ケア・フィーチャー用の Lotus Sametime、またはコラボレイティブ・ワークスペース・フィーチャー用の Lotus QuickPlace をインストールする必要があります。Lotus Sametime または Lotus QuickPlace のインストールの詳細は、*IBM WebSphere Commerce 追加ソフトウェアのガイド* を参照してください。カスタマー・ケアまたはコラボレイティブ・ワークスペース・フィーチャーを使用するための ToolTech の構成の詳細は、以下の関連タスクを参照してください。

注: 顧客が 2 バイト文字の言語を使用してテキスト・フィールドに長い情報を入力する場合は、入力はそのフィールドで許容されている長さを超えてエラーになることがあります。顧客が入力できる UTF8 でのストリングの長さを制限するためのコードを追加して、このエラーが起らないようにすることができます。

第 3 章 Creating a store using a sample

サンプルを使用したストアの作成

サンプル・ストアの 1 つを使用してストアを作成するには、以下のようにします。

1. (オプション)  セラーとして機能する組織を作成する。
セラーとして機能する新規組織を作成するかどうかを決定するには、『共有されるデータ資産』を参照してください。
2. 次の役割を果たすようにユーザーを作成する。
 - サイト管理者 (デフォルトのサイト管理者を使用していない場合)
 - セラー管理者
 - ストア管理者
 - Store Developer (ストア・デベロッパー)
重要: ストア・アーカイブを発行するためには、すべてのストアについての、サイト管理者、ストア管理者、またはストア開発者のアクセス権が必要です。
ストア管理者権限をもつユーザーを作成する場合は、そのアクセス・グループがすべてのストアに適用されることを確認してください。
3. ストア・サービスを使用したストア・アーカイブの作成
4. ストア・データベース資産を変更する。
5. Web 資産を変更する。
6. ストア・アーカイブを発行する。
7. (オプション) ストアを構成する。
8. ストアのために Payment Manager をセットアップする。

重要:

1. サンプル・ストアで何らかのセットアップを行わなければ、すべての機能が正しく機能しない場合もあります。サンプル・ストアを基にしてストアを作成する場合は、セットアップを完了しなければならない場合があります。詳しくは、サンプル・ストアのセットアップを参照してください。
2. カタログや配送センターのような特定のストア・データ資産は、ストア間で共有されます。その結果、同じサンプル・ストアに基づいて複数のストアを発行する場合、カタログおよび配送センターは各ストアとも同じになります。同じサンプルで他のストアを発行した場合には、あるカタログで変更を行うとそれらの変更が上書きされます。詳細情報および、変更の上書きを避ける方法については、共有データ資産を参照してください。

サンプル・ストア・アーカイブの作成

ストア・サービスで、サンプルとして使用できるストア・アーカイブを作成するには、*IBM WebSphere* ストア開発者ガイドを参照してください。

ストア・データベース資産の変更

ストア・サービス中のツールを使用してストア・アーカイブを作成する場合、新規ストア・アーカイブには最初の時点ではその基礎としたサンプル・ストア・アーカイブ、たとえば `infashion.sar` と同じストア・データベース資産が入ります。ストア・アーカイブ中で、ストア・データベース資産は、XML ファイルの形を取ります。

ほとんどの場合、ストア・データベース資産を変更するには、XML ファイルを直接に編集しなければなりません。場合によっては、ストア・サービス中のツールを使用してデータベース資産を編集できます。

直接データベース資産を編集するオプションもあります。つまり、Commerce サーバーに対するストア・アーカイブを発行し終えてから、WebSphere Commerce アクセラレーターかローダー・パッケージを使用するか、または直接 SQL を挿入して、データベースを編集できます。ストア・アーカイブ中の資産ではなくデータベースを編集する方を選択した場合は、ストア・アーカイブを更新してデータベース中の変更内容に一致させるか、またはストア・アーカイブの使用を中止しなければなりません。

オプションは、以下の表にリストしてあります。

重要:

- 資産名を検索するストア・サービスのツールは、以下のテーブルにリストされています。つまり、ストア・サービスのツールを使用してストア・アーカイブを編集する場合は、ご使用のストア・アーカイブにある同じ資産名を使用する必要があります。
- ストア・アーカイブが WebSphere Commerce Server に発行されると、データベース情報は以下の資産列で指定された順でロードされます。そのため、資産の順は、`sarinfo.xml` ファイルに指定されたように、以下の資産の順序に一致している必要があります。
- 各 XML ファイルのデータベース情報の順序は、必ずしも以下のデータベース・テーブル列で指定された順序と一致している必要はありません。ただし、親テーブルの情報は子テーブルの情報の先に位置する必要があります。
- オプションとしてマークされた情報は、機能ストアを作成するために必要ではありません。
- データベース編集オプション列において、特に指定がなければ、SQL 挿入かローダー・パッケージを使用してすべてのデータベース資産を編集できることに注意してください。したがって、この列には、WebSphere Commerce アクセラレーターによって編集できる資産が明示されていることとなります。

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
fulfillment	FFMCENTER (0..1)	<ul style="list-style-type: none">ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	<ul style="list-style-type: none">WebSphere Commerce アクセラレーターの「新規の配送センター」と「配送センターの変更」のページ。配送センターの作成および配送センターの変更を参照。

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
store	STOREENT	<ul style="list-style-type: none"> • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 • 「ストア・プロファイル」ノートブックを使用してストア情報を変更する。「ストア・プロファイル」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - IDENTIFIER - DIRECTORY - SETCURR 	
	STADDRESS	<ul style="list-style-type: none"> • 「ストア・プロファイル」ノートブックを使用してストア情報を変更する。 	<ul style="list-style-type: none"> • WebSphere Commerce アクセラレーターの「新規の配送センター」と「配送センターの変更」のページ。 • 配送センターの作成および配送センターの変更を参照。
	STOREENTDS	<ul style="list-style-type: none"> • 「ストア・プロファイル」ノートブックを使用してストア情報を変更する。「ストア・プロファイル」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - DESCRIPTION - DISPLAYNAME 	
	STORELANG	<ul style="list-style-type: none"> • 「ストア・プロファイル」ノートブックを使用してストア情報を変更する。「ストア・プロファイル」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - LANGUAGE_ID 	
	STORELANGDS	<ul style="list-style-type: none"> • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
	STORE	<ul style="list-style-type: none"> • 「ストア・プロフィール」ノートブックを使用してストア情報を変更する。「ストア・プロフィール」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 - PHONE1 - CITY - STORE_ID - COUNTRY - STATE - EMAIL1 - ADDRESS1 - ADDRESS2 - FAX - ZIPCODE 	
	DISPENTREL (デフォルトの CATENTRY テンプレート。CATENTRY_ID = -1)	<ul style="list-style-type: none"> • 「ストア・プロフィール」ノートブックを使用してストア情報を変更する。「ストア・プロフィール」ノートブックは PAGENAME データベース列を編集します。 	
	DISPCGPREL (デフォルトの CATEGORY テンプレート。CATGROUP_ID = -1)	<ul style="list-style-type: none"> • 「ストア・プロフィール」ノートブックを使用してストア情報を変更する。「ストア・プロフィール」ノートブックは PAGENAME データベース列を編集します。 	
	VENDOR	<ul style="list-style-type: none"> • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
catalog	CATGROUP	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	CATGRPATTR	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	CATGRPDESC	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	CATALOG	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	CATALOGDSC	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	CATTOGRP	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	CATGRPREL	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	CATENTRY	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	CATENTDESC	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	ATTRIBUTE	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	ATTRVALUE	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	CATGPENREL	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	CATENTREL	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	BASEITEM	<ul style="list-style-type: none"> カタログ情報を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
	ITEMSPC	<ul style="list-style-type: none"> • カタログ情報を変更する。 • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> • WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	VERSIONSPC	<ul style="list-style-type: none"> • カタログ情報を変更する。 • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	DISTARRANG	<ul style="list-style-type: none"> • カタログ情報を変更する。 • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	RECEIPT	<ul style="list-style-type: none"> • カタログ情報を変更する。 • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	RCPTAVAIL	<ul style="list-style-type: none"> • カタログ情報を変更する。 • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	STOREITEM	<ul style="list-style-type: none"> • カタログ情報を変更する。 • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> • WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
tax	JURSTGROUP (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 • 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - JURSTGROUP_ID - DESCRIPTION - SUBCLASS - STOREENT_ID - CODE 	
	JURST (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> • 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - JURST_ID - COUNTRY - STOREENT_ID - CODE - SUBCLASS - STATE 	
	JURSTGPREL (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> • 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - JURST_ID - JURSTGROUP_ID - SUBCLASS 	
	CALMETHOD (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	TXCDCLASS (オプション、 WebSphere Commerce アクセラレーターを使用してカテゴリー化している CALCODE の場合のみ。)	<ul style="list-style-type: none"> • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	TAXCGRY	<ul style="list-style-type: none"> • 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - TAXCGRY_ID - STOREENT_ID - NAME 	

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
	CALCODE (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALCODE_ID - CODE - CALUSAGE_ID - STOREENT_ID - GROUPBY - CALMETHOD_id - CALMETHOD_id_app - CALMETHOD_id_qfy 	
	CALCODEDSC (税と配送で共通。オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	CALRULE (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALRULE_ID - CALCODE_ID - TAXCGRY_ID - CALMETHOD_ID 	
	CALSCALE (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALSCALE_ID - CODE - STOREENT_ID - CALUSAGE_ID - SETCURR - CALMETHOD_ID 	
	CALSCALEDS (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	CALRANGE (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALRANGE_ID - CALSCALE_ID - CALMETHOD_ID - RANGESTART 	
	CALRLOOKUP (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALSCALE_ID - CALRULE_ID 	



ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
	CRULESCALE (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALSCALE_ID - CALRULE_ID 	
	CALRULEMGP (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	CALCODTXEX (税免除、割引により使用)	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	STENCALUSG (共通、ストアのデフォルト CALCODE、2 エントリ: 販売税 1、配送税 1)	<ul style="list-style-type: none"> 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。 	
taxfulfillment	TAXJCRULE	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 「税」ノートブックを使用して、税設定を変更する。「税」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALRULE_ID - FFMCENTER_ID - JURSTGROUP_ID 	
store-catalog-tax	CATENCALCD (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	CATGPCALCD (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
配送	JURSTGROUP (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 • 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。 「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - JURSTGROUP_ID - DESCRIPTION - SUBCLASS - STOREENT_ID - CODE 	
	JURST (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> • 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - JURST_ID - COUNTRY - STOREENT_ID - CODE - SUBCLASS - STATE 	
	JURSTGPREL (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> • 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - JURST_ID - JURSTGROUP_ID - SUBCLASS 	
	SHIPMODE	<ul style="list-style-type: none"> • 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CODE - CARRIER - SHIPMODE_ID 	
	SHPMODEDSC	<ul style="list-style-type: none"> • 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - SHIPMODE_ID - LANGUAGE_ID 	
	CALMETHOD (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> • ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
	CALCODE (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALCODE_ID - CODE - CALUSAGE_ID - STOREENT_ID - GROUPBY - CALMETHOD_ID 	
	CALCODEDSC (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。 	
	CALRULE (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALRULE_ID - CALCODE_ID - TAXCGRY_ID - CALMETHOD_ID 	
	CALSCALE (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALSCALE_ID - CODE - STOREENT_ID - CALUSAGE_ID - SETCURR - CALMETHOD_ID 	
	CALRULEMGP (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	CALSCALEDS (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	CALRANGE (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALRANGE_ID - CALSCALE_ID - CALMETHOD_ID 	
	CALRLOOKUP (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALRLOOKUP_ID - SETCURR - CALRANGE_ID - VALUE 	

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
	CRULESCALE (税と配送で共通)	<ul style="list-style-type: none"> 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALSCALE_ID - CALRULE_ID 	
	STENCALUSG (共通、ストアのデフォルト calcode。配送に 1 エントリー caluage、1。)	<ul style="list-style-type: none"> 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。 	
ship fulfillment	SHPJCRULE (ストアに少なくとも 1 つのデフォルト・ルール)	<ul style="list-style-type: none"> 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - CALRULE_ID - SHPARRANGE_ID - JURSTGROUP_ID 	
	SHPARRANGE	<ul style="list-style-type: none"> 「配送」ノートブックを使用して配送設定を変更する。「配送」ノートブックは以下のデータベース列を編集します。 <ul style="list-style-type: none"> - SHARRAND_ID - STORE_ID - FFMCENTER_ID - SHIPMODE_ID 	
store-catalog	STORECAT	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	STORECENT	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	STORECGRP	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	DISPENTREL	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	DISPCGPREL	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
store fulfillment	INVENTORY	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
offering	TRADEPOSCN (1)	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
	MGTRDPSCN (オプション、顧客グループ用)	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
	OFFER	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	• WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	OFFERDESC	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
	OFFERPRICE	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	• WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	LISTPRICE	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
command	URLREG	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
	CMDREG	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
	VIEWREG	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
currency	CURCONVERT	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
	CURFORMAT	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
	CURFMTDESC	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
	CURCVLIST	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	
	CURLIST	• 「ストア・プロファイル」ノートブックを使用してストア情報を変更する。「ストア・プロファイル」ノートブックは CURRSTR を編集します。	
campaign	EMSPOT	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	• WebSphere Commerce アクセラレーターの e-マーケティング・スポット管理ツール
	CAMPAIGN	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	• WebSphere Commerce アクセラレーターのキャンペーン管理ツール
store-catalog-shipping	CATENCALCD	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	• WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツール
	CATGPCALCD	• ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。	

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
store-defaults	STOREDEF	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
consistency check		<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
payment (支払い)	CMDREG	<ul style="list-style-type: none"> 支払い設定を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	VIEWREG	<ul style="list-style-type: none"> 支払い設定を変更する。 ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
ビジネス・ポリシー	POLICY	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	POLICYCMD	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
 組織	ORGENTITY	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	MBRREL	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	ADDRBOOK	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
	ADDRESS	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ XML ファイルを編集する。 	
 ビジネス・アカウント	TERMCOND	ストア・アーカイブを使用してアカウント資産を更新したり再発行したりすることはできません。アカウント資産に変更を加える必要がある場合は、WebSphere Commerce アクセラレーターのビジネス関係管理ツールを使用して、データベース内の資産を編集する必要があります。	WebSphere Commerce アクセラレーターのビジネス関係管理ツール 重要: ローダー・パッケージを使用してアカウントをロードすることはできません。
	ACCOUNT		
	TRADING		
	TCDESC		
	PATTRVALUE		
	CREDITLINE		
	TRDDESC		
	POLICYTC		
	BUYERPO		
	PARTICIPNT		
	ATTACHMENT		
	TRDATTACH		

ストア・データベース資産	データベース・テーブル	ストア・アーカイブ編集オプション	データベース編集オプション
 契約	CONTRACT TERMCOND PRODUCTSET TRADING TCDESC PATTRVALUE TRDDESC POLICYTC PARTICIPNT TRADEPOSCN ATTACHMENT OFFER TRDATTACH OFFERPRICE STORECNTR PURCHASELT STOREDEF (ストア・サービスによって使用される) APRVSTATUS FLINSTANCE	<ul style="list-style-type: none"> ストア・アーカイブ中の契約 XML ファイルを編集する。 	WebSphere Commerce アクセラレーターのビジネス関係管理ツール 重要: ローダー・パッケージを使用して契約をロードすることはできません。

Web 資産の変更

ストア・アーカイブで Web 資産を変更するには、以下のオプションがあります。

- ストア・アーカイブを WebSphere Studio にインポートし、ページ・デザイナーまたは好みのツールを使用して、Web 資産に必要な変更を行う。必要な場合、新規ストア・ページを作成する。それから、Web 資産をストア・アーカイブあるいは実行中のストアに戻してエクスポートします。
- ストア・サービスで「Web 資産」ダイアログを使用して、ストア・アーカイブから任意のロケーションに Web 資産をダウンロードし、その後、任意のツールでこれらを変更する。あるいは、ストア・サービスで「Web 資産」ダイアログを使用して、ストア・アーカイブにある Web 資産を既存の Web 資産に置換する。必要であれば、新しいストア・ページを作成してください。
- ストア・アーカイブにある Web 資産の圧縮アーカイブ・ファイルを手動でオープンし、既存のファイルを変更するか、あるいは新しいファイルを追加する。

ストア・サービスからのサンプル・ストア・アーカイブの発行







サンプル・ストア・アーカイブを WebSphere Commerce サーバーに発行することにより、ストアを実働環境にすることができます。ストア・アーカイブを発行するには、以下のステップを実行してください。

1. サイト管理者またはストア管理者のアクセス権を持っていることを確認する。ストア管理者アクセス権がある場合には、そのアクセス権がすべてのストアに対するものであることを確認してください。
2. 「該当するサービスとサーバーが実行していることを確認」の項目にある作業が完了していることを確認する。
3. ストア・サービスをオープンする。

4. 「ストア・アーカイブ」リストから、発行しようとするストア・アーカイブを選択する。
5. 「発行」をクリックする。
「ストア・アーカイブの発行」ページが表示されます。
6. 希望する発行オプションを選択する。発行オプションの詳細については、「ヘルプ」をクリックしてください。
ヒント: 完全な機能を備えたストアを作成するには、最初にストア・アーカイブを発行するとき、商品データ・オプションを含め、すべての発行オプションを選択してください。
7. **OK** をクリックする。
ストアが発行されている間、「ストア・アーカイブ」をリストしたページに戻ります。発行状態は、「発行」状況列に反映されます。「最新表示」をクリックして、状況を更新します。
8. リストからストア・アーカイブを選択し、「発行の要約」をクリックして、発行結果を表示する。
9. 発行が完了したら「ストアの立ち上げ」をクリックし、ストアを表示してテストする。終了したら、サイトにブックマークを当て、ブラウザをクローズする。

重要:

1. Web アプリケーションの Web パスや Web アプリケーションの文書ルートを変更する場合は、それらが、WebSphere Commerce サーバー内に定義されているパスと一致することを確認する必要があります。
2. 一度には 1 つのストア・アーカイブしか発行できません。同時発行はサポートされていません。それは、両方のストアの発行が失敗する原因となります。
3. 発行中に整合性チェッカーは、ストア・アーカイブで参照されるファイルが存在することを確認します。整合性検査でエラーがあると、エラーはログに書き込まれます。発行は正常として継続されません。
4. ストアを再発行する前に次のディレクトリーからファイルを削除してください。

	<code>drive:¥WebSphere¥CommerceServer¥instances¥instancename¥cache</code>
	<code>drive:¥Program Files¥WebSphere¥CommerceServer¥instancename¥cache</code>
	<code>/usr/WebSphere/CommerceServer/instances/instancename/cache</code>
	
	<code>/QIBM/UserData/WebCommerce/instances/instancename/cache</code>

ストア開発フェーズでは、キャッシングを使用不可にしたい場合があります。詳しくは、キャッシングの構成を参照してください。

5. ストア・サービスからストアを立ち上げると、ストア・サービスにログインする時に使ったのと同じユーザー名およびパスワードをもつストアにログインされます。そのストアでパスワードを変更すると、ストア・サービスに対してもパスワードを変更することになります。あるいは、パスワードの変更を含め、ストアのフィーチャーをテストするには、サイト・アドレスを保管し、すべてのブラウザ・ウィンドウをクローズしてから、ストアに再びログオンします。
6. デフォルトの管理者としてログインしている場合は、企業間取り引きサンプル・ストアを基にしたストアをブラウズできません。この場合は、デフォルト組織に属する新規ユーザーを作成してから、ストアをブラウズしてください。
7. カタログや配送センターのような特定のストア・データ資産は、ストア間で共有されます。その結果、同じサンプル・ストアに基づいて複数のストアを発行する場合、カタログおよび配送センターは各ストアとも同じになります。同じサンプルで他のストアを発行した場合には、あるカタログで変更を行うとそれらの変更が上書きされます。詳細情報および、変更の上書きを避ける方法については、共有データ資産を参照してください。

コマンド行を使用したストア・アーカイブの発行 (Windows)

ストア・アーカイブを発行する基本的な方法は、ストア・サービスによる方法ですが、コマンド行を使用してストア・アーカイブを発行することもできます。コマンド行を使用して発行するには、以下のようにします。

1. サイト管理者またはストア管理者のアクセス権を持っていることを確認する。ストア管理者アクセス権がある場合には、そのアクセス権がすべてのストアに対するものであることを確認してください。
2. ストア・アーカイブの有効なパラメーターを使用して以下のコマンドを入力する。 `publishstore sarName hostname logonId logonPwd {insert|update} destination1=webapp.zip,destination2=properties.zip` ここでは以下のようにになっています。
 - `sarName` はストア・アーカイブ名です。 `sarName` は大文字小文字の区別があります。必ず大文字小文字を正しく区別しなければなりません。
 - `hostname`。 `hostname`は WebSphere Commerce サーバーの完全修飾 TCP/IP 名です。インスタンスのツール・ポート番号。 ツール・ポート番号は、構成マネージャー (インスタンス・プロパティ > **WebSphere** にある) で見つかります。デフォルトでは、これは `hostname:8000` です。
 - `logonId` は WebSphere Commerce ユーザー ID です。
 - `logonPwd` は WebSphere Commerce のユーザー・ログオン・パスワードです。
 - `insert|update` はストアを作成 (`insert`) か更新 (`update`) するかを決定します。
 - `{ALL|NOCATLG}` は XML ファイル内のどのXML ファイルを発行するかを決定します。すべてを発行するには、`ALL` を使用します。カタログ以外をすべて発行するには、`NOCATLG` を使用します。
 - `destination1=webapp.zip,destination2=properties.zip`は、SAR 内のファイル資産ファイル (たとえば `webapp.zip`) と、発行先のパスのリストです。発行先のパスは、たとえば次のようなものです。 `destination1` は、次のとおりです。

```
> NT drive:%Websphere%AppServer%installedApps%  
WC_Enterprise_App_instancename.ear%wcstores.war
```

```
> 2000 drive:%Program Files%WebSphere%AppServer%installedApps%  
WC_Enterprise_App_instancename.ear%wcstores.war
```

`destination2is`

```
> NT drive:%WebSphere%AppServer%installedApps%WC_Enterprise_App_demo.ear%  
wcstores.war%WEB-INF%classes
```

```
> 2000 drive:%ProgramFiles%WebSphere%AppServer%installedApps%  
WC_Enterprise_App_demo.ear%wcstores.war%WEB-INF%classes
```

以下はこのコマンドの例です:

```
publishstore mysar.sar myhost wcsadmin wcsadmin insert ALL  
"d:%websphere%AppServer%installedApps%WC_Enterprise_App_demo.ear%  
wcstores.war=webapp.zip,d:%websphere%AppServer%installedApps%  
WC_Enterprise_App_demo.ear%wcstores.war%WEB-INF%classes=properties.zip"
```

3. Internet Explorer をオープンし、以下の Web アドレスにアクセスする。
`http://hostname/webapp/wcs/stores/store_directory/index.jsp` (ここで `store_directory` は、直前に発行したストアのディレクトリーです。)
作成したストアが表示される。

注:バージョン 5.1 で作成されたストア・アーカイブを発行する場合は、URL からストアを立ち上げる前に、以下のステップを実行する必要があります。

1. DB2 を使用している場合の手順は、以下のとおり。 Oracle を使用している場合はステップ 2 に進みます。
 - a. コマンドの実行が終わったら、**スタート・メニューからプログラム、DB2 for Windows NT、コマンド・ウィンドウ**の順に選択する。
 - b. **DB2 CLP** ウィンドウで `db2 connect to dbname` と入力する。ここで `dbname` はストアを発行しようとする宛先のデータベースです。 **Enter** を押す。
 - c. コマンド行で、`db2 select * from store`と入力し、 **Enter** を押す。ストアのリストが表示される。作成したストアの番号を書き取る。
 - d. コマンド行で、`db2 select * from catalog`と入力し、 **Enter** を押す。カタログのリストが表示されます。 サンプル・ストアのカタログの番号を書き取る。
 - e. ステップ 3 に進む。
2. Oracle を使用している場合に手順は、以下のとおり。
 - a. コマンドの実行が終わったら、**スタート・メニューからプログラム、Oracle - HomeOra81、アプリケーション開発、SQL Plus** の順に選択する。
 - b. ウィンドウで、`user name`、`password`、および `host string` を入力します。
 - c. 「SQL Plus」ウィンドウで、`select * from store;`と入力し、 **Enter** を押す。ストアのリストが表示される。 作成したストアの番号を書き取る。
 - d. SQL Plus ウィンドウで、`select * from catalog;`と入力し、 **Enter** を押す。 カatalogのリストが表示される。 サンプル・ストアのカタログの番号を書き取る。
 - e. ステップ 3 に進む。
3. Internet Explorer をオープンし、以下の URL にアクセスする。
`http://hostname/webapp/wcs/stores/servlet/StoreCatalogDisplay?storeId=storeId from step1c or 2c&langId=-1&catalogId=catalogId from step1d or 2d`
作成したストアが表示される。
ストアの表示で問題がある場合は、発行に関するトラブルシューティングを参照してください。

重要:

1. 発行中に整合性チェッカーは、ストア・アーカイブで参照されるファイルが存在することを確認します。 整合性検査でエラーがあると、エラーはログに書き込まれます。 発行は正常として継続されません。
2. ストアを再発行する前に次のディレクトリーからファイルを削除してください。
`drive:¥WebSphere¥CommerceServer¥instances¥instancename¥cache`
`drive:¥Program Files¥WebSphere¥CommerceServer¥instances¥instance name¥cache`
3. ストア開発フェーズでは、キャッシング・トリガーを使用不可にします。キャッシュをオンのままにしておくと、以下のような結果になる場合があります。
 - JSP ファイルに加えた変更がブラウザーで表示されない。
 - データベースが更新されると、発行中にキャッシング・トリガーが呼び出される。キャッシング・トリガーは、データベース・トランザクション・ログ・オーバーフローを引き起こす可能性のある不必要なデータベース・アクティビティーを生成する場合があります。 詳しくは、キャッシングの構成を参照してください。

4. デフォルトの管理者としてログインしている場合は、企業間取り引きサンプル・ストアを基にしたストアをブラウズできません。この場合は、デフォルト組織に属する新規ユーザーを作成してから、ストアをブラウズしてください。

ストアのための Payment Manager のセットアップ

ストアのための Payment Manager のセットアップは、管理コンソールまたは Payment Manager ユーザー・インターフェースを使用して完成することができます。管理コンソールを使用する場合、メニュー項目は **Payment Manager** メニュー上に現れます。Payment Manager ユーザー・インターフェースを使用する場合、メニュー項目は、ナビゲーション・フレームの**管理**の下に現れます。

サンプル・ストア・アーカイブ (これが推奨です) を使用してストアを作成すると、Payment Manager が部分的に構成されます。

ストアのための Payment Manager のセットアップを完了するには、以下のようになります。

1. 管理コンソールまたは Payment Manager ユーザー・インターフェースをオープンする。
2. 必要であれば、Payment Manager ユーザー役割を WebSphere Commerce ユーザーに割り当てる。Payment Manager ユーザー役割を割り当てるには、**ユーザー**を選択します。

デフォルトでは、WebSphere Commerce サイト管理者のデフォルトの wcsadminが、Payment Manager 管理者役割に割り当てられます。別の WebSphere Commerce ユーザーをさまざまな Payment Manager ユーザーに割り当てたくなることもあります。

3. 以下を実行して、ストアのカセットを許可する。
 - a. **マーチャント設定**を選択する。
 - b. ストア名を**マーチャント名**列でクリックする。
 - c. ストアに許可したいカセットを選択する。
 - d. **更新**をクリックする。

重要: 自分のストアを手動で作成した場合、そのストア用のカセットを許可するには、新規マーチャント (自分のストア) を追加する必要があります。新規マーチャントを作成するとき、指定するマーチャント番号は、WebSphere Commerce ストア ID と一致している必要があります。新規マーチャントは、**マーチャント設定**を選択し、**マーチャントの追加**をクリックして作成できます。

4. 以下を実行して、ストアのカセットを構成する。
 - a. **マーチャント設定**を選択する。
 - b. 自分のストアの行の、構成したいカセットの列に現れたアイコンをクリックして、構成するカセットを選択する。
 - c. ストアのカセットのページで、**アカウント**をクリックして、以下のいずれかを実行する。
 - 既存のアカウントを変更するには、「アカウント名」をクリックする。
 - 新規アカウントを作成するには、**アカウントの追加**をクリックする。


BankServACH のカセットの構成については、*IBM WebSphere Payment Manager for Multiplatforms, Cassette for BankServACH Supplement, Version 3.1* を参照してください。

OfflineCard および CustomOffline カセットの構成の詳細は、*IBM WebSphere Payment Manager for Multiplatforms 管理者ガイド バージョン 3.1* を参照してください。

Cassette for SET の構成の詳細は、*IBM WebSphere Payment Manager for Multiplatforms Cassette for SET 補足 バージョン 3.1* を参照してください。

Cassette for CyberCash の構成の詳細は、*IBM WebSphere Payment Manager for Multiplatforms Cassette for CyberCash 補足 バージョン 3.1* を参照してください。

Cassette for VisaNet の構成の詳細は、*IBM WebSphere Payment Manager for Multiplatforms, Cassette for VisaNet Supplement, Version 3.1* を参照してください。

管理コンソールまたは Payment Manager ユーザー・インターフェースから、Payment Manager を使用しているときにヘルプが必要であれば、使用している Payment Manager のページの右上隅にある  をクリックします。


上記の Payment Manager 管理タスクまたはそれ以外の Payment Manager 管理タスクの詳細は、*IBM WebSphere Payment Manager for Multiplatforms 管理者ガイド バージョン 3.1* を参照してください。

WebSphere Payment Manager のインストールの詳細は、次の資料を参照してください。

- *IBM WebSphere Commerce Business Edition, Installation Guide, Version 5.4*
- *IBM WebSphere Payment Manager for Multiplatforms インストール・ガイド バージョン 3.1.*

サンプル・ストア用のスケジュールされたジョブの作成

サンプル・ストアを発行した後で、スケジュールされたジョブをストア用に作成する必要があります。以下の表では、各サンプル・ストア用に作成しなければならない、スケジュールされたジョブが示されています。

サンプル・ストア	必要なスケジュールされたジョブ
InFashion	<ul style="list-style-type: none">• BalancePayment• PayCleanup• ReturnCreditAndCloseScan
NewFashion	<ul style="list-style-type: none">• BalancePayment• PayCleanup• ProcessBackorders• RAreallocate• ReleaseExpiredAllocations• ReleaseToFulfillment• ReturnCreditAndCloseScan
WebFashion	<ul style="list-style-type: none">• BalancePayment• PayCleanup• ReturnCreditAndCloseScan
 Business ToolTech	<ul style="list-style-type: none">• BalancePayment• PayCleanup• ProcessBackorders• RAreallocate• ReleaseExpiredAllocations• ReleaseToFulfillment• ReturnCreditAndCloseScan

サンプル・ストア	必要なスケジュールされたジョブ
WebAuction	<ul style="list-style-type: none"> • BalancePayment • PayCleanup • ReturnCreditAndCloseScan

これらのジョブの簡単な説明を、以下に示します。

BalancePayment

このジョブは、DoDepositCmd タスク・コマンドを呼び出し、オーダーが配送されるたびに支払いを資金化します。このコマンドは、WebSphere Commerce の自動的支払いの資金化機能を実装しています。

PayCleanup

このジョブは、ストア構成期間よりも長い期間それぞれの金融機関によって拒否されている支払い許可要求について、WebSphere Commerce オーダーをキャンセルします。

ProcessBackorders

このジョブは、在庫が使用できないときに作成されたバック・オーダーに在庫を割り振ります。

RAREallocate

(予定在庫に対する再配布の割り振り) このジョブは、既存のバック・オーダーに対して、オープンな予定在庫レコード (EIR) を再配布します。これは、EIR 情報が追加または変更され、すでにバック・オーダーされているアイテムが削除または割り振られたときに、バック・オーダーされたオーダー・アイテムがいつ入手可能になるかを、より正確に予測するために必要です。

ReleaseExpiredAllocations

このジョブは、有効期限の時間制限を超過している、以前に割り振られたオーダー・アイテムから、受け取りテーブルに割り振り済みの在庫を戻します。

ReleaseToFulfillment

このジョブは、オーダー上の割り振られたアイテムを配送にリリースします。

ReturnCreditAndCloseScan

このジョブは、クレジットに適格で、クローズ済みとしてマーク付けされる、返品商品取引権限を走査します。

スケジュールされたジョブを作成する場合、ジョブごとにストア・レベル・ジョブのスケジューリングにある指示に従ってください。以下の表は、ジョブごとの推奨パラメーターをリストしています。

スケジュールされたジョブ	推奨されている開始時刻	推奨されているインターバル (秒単位)	推奨されている優先順位
BalancePayment	00:00	86400	1
PayCleanup	00:00	86400	1
ProcessBackorders	00:00	43200	8
RAREallocate	00:00	86400	1
ReleaseExpiredAllocations	00:00	3600	8
ReleaseToFulfillment	00:00	600	10
ReturnCreditAndCloseScan	00:00	86400	1

開始時刻を 00:00 に設定すると、スケジュールされたジョブがすぐに開始されます。

注: これらのジョブに関して、「スケジュール・ジョブ」ウィンドウの**ジョブ・パラメーター・フィールド**に入力する必要はありません。

サンプル・ストアの E メール通知の構成

以下の手順を使用すると、支払いが許可されたとき、オーダーが許可されたとき、そしてオーダーがキャンセルされたときに、顧客へ E メールで通知できます。顧客へ E メールを送信するには、メール・サーバーをセットアップする必要があることに注意してください。

注:メール・サーバーをセットアップしていない場合、自分のストアから E メール通知を送信できませんが、サンプル・ストアの残りの機能は使用できます。

それぞれのサンプル・ストアは、別々の E メール通知をサポートします。以下の表は、サポートされている E メール通知をストア別に示します。

サンプル・ストア	サポートされている E メール通知	メッセージ・タイプ
InFashion	パスワードのリセット	パスワード・リセットの通知メッセージ
NewFashion	与信済みオーダー	与信済みオーダーの通知メッセージ
	パスワードのリセット	パスワード・リセットの通知メッセージ
	Submission order (送信オーダー)	受け取り済みオーダーの通知メッセージ
	Canceled order (キャンセルされたオーダー)	キャンセルされたオーダーの通知メッセージ
	Shipping notification (配送通知)	顧客にオーダー・リリースの公開を通知するメッセージ
	購入希望リスト	ブロードキャスト・メッセージ
WebFashion	与信済みオーダー	与信済みオーダーの通知メッセージ
	パスワードのリセット	パスワード・リセットの通知メッセージ
	購入希望リスト	ブロードキャスト・メッセージ

注: WebAuction サンプル・ストアは WebFashion を基にしています。E メール通知をセットアップするには、WebFashion でのすべてのステップと、さらにオークション関連のステップを実行する必要があります。WebAuction での E メール通知のステップの詳細は、下記の『関連タスク』を参照してください。

E メール通知を使用可能にするには、以下のようにします。

1. IBM WebSphere Application Server の管理サーバーが始動していることを確認する。
2. サイト管理者 ID を使用して、管理コンソールをオープンする。
3. 「管理コンソールのサイト/ストアの選択」ページで、「ストア」を選択する。「ストアおよび言語の選択」セクションが表示されます。
4. 「名前」ドロップダウンから、ストアを選択する。
5. 「言語」ドロップダウン・リストから、言語を選択する。「OK」をクリックします。「ストア管理コンソール」ホーム・ページが表示されます。
6. 「構成」メニューから、「トランスポート」をクリックする。「トランスポートの構成」ページが表示されます。
 - a. **E メール**・トランスポートの状況が「アクティブ」であることを確認する。
E メールが非アクティブの場合、その E メールを選択して、「状況の変更」をクリックします。

- b. **E メール**を選択して、「**構成**」をクリックする。「トランスポート構成パラメーター」ページが表示されます。
 - c. 「**ホスト**」フィールドに、使用する完全修飾メール・サーバー名を入力する。たとえば、`myserver.ibm.com` など。
 - d. 「**プロトコル**」フィールドに、小文字の `smtp`か、選択したプロトコルを入力する。 **OK** をクリックします。
7. 「**構成**」メニューから、「**メッセージ・タイプ**」をクリックする。「メッセージ・タイプ構成」ページが表示されます。
8. 以下のようにして、支払いが許可されたときに送信する通知を作成する。
- a. 「**新規**」をクリックする。「メッセージ・トランスポート割り当て」ページが表示されます。
 - b. 「**メッセージ・タイプ**」ドロップダウン・リストからメッセージ・タイプを選択する。使用するストアで使うメッセージ・タイプについては、上記の表を参照してください。
 - c. 「**メッセージ重大度**」フィールドに、`0 to 0` と入力する。
 - d. 「**トランスポート**」ドロップダウン・リストから「**E メール**」を選択する。
 - e. 「**デバイス形式**」ドロップダウン・リストから「**標準デバイス形式**」を選択する。
 - f. 「**次へ**」をクリックする。「メッセージ・トランスポート割り当てパラメーター」ページが表示されます。
 - g. 以下のようにしてフィールドを完了させます。

ホスト	使用するメール・サーバーの完全修飾名。たとえば、 <code>example.ibm.com</code> 。
プロトコル	<code>smtp</code> (小文字を使用のこと) か、使用するプロトコルを入力します。
宛先	有効な E メール・アドレスを入力します。このアドレスは、実行時には顧客 E メール・アドレスに置き換えられます。
差出人	メッセージの差出人として使用する E メール・アドレスを入力します。たとえば、 <code>orders@example.ibm.com</code> など。このアドレスは、メール・サーバーで有効なユーザーの E メール・アドレスでなければなりません。
件名	メッセージの件名行として表示するテキストを入力します。たとえば、「オーダーをお受けしました」など。

- h. 「**終了**」をクリックする。「メッセージ・タイプ構成」ページが表示されます。
9. サンプル・ストアでのメッセージ・タイプごとに、ステップ 8 を繰り返す。

注:

- キャンセル済みオーダー通知の E メールを送信するまでには、大抵かなりの時間がかかります。以下のようにして、この時間を短縮できます。
 1. **STORE** データベース・テーブルの **REJECTEDORDEREXPIRY** カラムの値を、より小さい値に設定する。
 2. **PayCleanup** スケジュール済みジョブを、スケジュール間隔が短くなるよう変更する。
- 配送通知の詳細は、**ReleaseShipNotify** メッセージを参照してください。

ToolTech のアカウント・ベースのキャンペーンの作成 (Business Edition)

Business ToolTech ストアに、自分が属するアカウントに基づいたキャンペーンを作成できます。アカウント・ベースのキャンペーンを作成するには、以下のことを行う必要があります。

- 顧客プロフィールを作成する。
- キャンペーンを作成する。
- キャンペーン・イニシアチブを作成する。
- e-マーケティング・スポットを作成する。

顧客プロフィールを作成する

顧客プロフィールを作成するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターにログオンする。
2. **マーケティング** > **顧客プロフィール**をクリックする。「顧客プロフィール」ページが表示されます。
3. **新規**をクリックする。「一般」ページが表示されます。
4. テキスト・ボックスに顧客プロフィールの名前を入力する。たとえば、「Woodworking Companies」など。
5. 左側のナビゲーション・フレームで、**登録** > **登録状況**をクリックする。「登録状況」ページが表示されます。
6. **登録済み**を選択する。
7. 左側のナビゲーション・フレームで、**アカウント** > **アカウント**を選択する。「アカウント」ページが表示されます。
8. **選択したアカウントのいずれかに属す**を選択する。
9. **追加**をクリックして、使用可能なアカウントを「選択したアカウント」ボックスに追加する。**注:** アカウント 1 は組織 A 用、およびアカウント 2 は組織 B 用です。
10. ページの下部で、**OK** をクリックする。作成したばかりのプロファイルを見ることのできる、「顧客プロフィール」ページに戻ります。

キャンペーンを作成する

キャンペーンを作成するには、以下のようになります。

1. **マーケティング** > **キャンペーン**をクリックする。「キャンペーン」ページが表示されます。
2. **新規**をクリックする。「一般定義」ページが表示されます。
3. 提供されるテキスト・ボックスにキャンペーン名と説明を入力する。たとえば、「木工用工具」、「木工用工具の割引」など。
4. ページの下部で、**次へ**をクリックする。「ビジネス目的の定義」ページが表示されます。
5. テキスト・ボックスにキャンペーンのスポンサーと目的を入力することもできる。
6. ページの下部で、**終了**をクリックする。これで、キャンペーンが正常に作成されました。

キャンペーン・イニシアチブを作成する

キャンペーン・イニシアチブを作成するには、以下のようになります。

1. 作成したキャンペーンを選択し、右側のメニューの**イニシアチブ**をクリックする。
2. **新規**をクリックする。「一般定義」ページが表示されます。

3. テキスト・ボックスでイニシアチブの名前を入力する。
4. 「キャンペーン」ドロップダウン・ボックスからキャンペーンを選択する。
5. 左側のナビゲーション・フレームで、**コンテンツ** を選択し、それから**次へ**をクリックする。「表示されるダイナミック・コンテンツを定義」ページが表示されます。
6. **特定商品を提示**を選択する。
7. **検索**または**ブラウズ**をクリックして商品を選択する。
8. **ターゲット** を選択し、それから**次へ**をクリックする。「ターゲット顧客を定義」ページが表示されます。
9. **特定の顧客プロファイルターゲットとする**を選択する。
10. **追加**をクリックし、使用可能な顧客プロファイルを「選択した顧客プロファイル」ボックスに追加する。
11. ページの下部で、**次へ**をクリックする。「ターゲット顧客の曜日を定義」ページが表示されます。
12. データの定義のオプションを選択することもできる。
13. **次へ**をクリックする。「ターゲット顧客の行動様式を定義」ページが表示されます。顧客の行動様式を作成するには、**追加**をクリックし、**オンライン・ヘルプ**の説明に従います。
14. **終了**をクリックする。これで、キャンペーン・イニシアチブが正常に作成されました。


e-マーケティング・スポットを作成する

e-マーケティング・スポットを作成するには、以下のようにします。

1. **マーケティング > e-マーケティング・スポット**をクリックする。「e-マーケティング・スポット」ページが表示されます。
2. アイテムのリストで“StoreHomePage”を選択し、右側のメニューで**スケジュール**をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュールリング」ページが表示されます。
3. **新規**をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」ページが表示されます。
4. 「選択したキャンペーン」ドロップダウン・ボックスで、キャンペーンを選択する。
5. **追加**をクリックして、以前に作成したキャンペーン・イニシアチブを「選択したキャンペーン・イニシアチブ」ボックスに追加する。
6. キャンペーンの開始日付を追加する。
7. 終了日付を選択するか、**このキャンペーン・イニシアチブを無期限で実行します**を選択する。
8. ページの下部で、**OK** をクリックする。

顧客プロファイルを作成した際に選択した組織を使用して、ToolTech ストアにログオンする。これで、ToolTech ホーム・ページで選択した特定の商品を見ることができるよう。

ToolTech への組織のロゴの追加 (Business Edition)

 **Business** ストアを発行する前に、businessaccount.xmlファイルのロゴの URL を置き換えることにより、ToolTech ヘッダーに組織のロゴを追加できます。

組織のロゴを追加するには、businessaccount.xml ファイル内で URL を貴社のロゴの URL と置き換えます:

```
<TermCondition>  
<DisplayCustomizationTC sequenceNumber = "1">
```

```
<DisplayLogo>  
<Attachment URL = "images/logoAccountA.gif" />  
</DisplayLogo>  
</DisplayCustomizationTC>  
</TermCondition>
```

ここで、*images/logoAccountA.gif* はロゴの URL が置かれるべき場所を示しています。

第 4 章 Sample store database assets

ストア・データベース資産

ストア・データは WebSphere Commerce Server データベースにロードされる情報であり、ストアの機能を可能にするものです。正常に稼働できるようにするには、ストアでデータが適所に置かれて、すべての顧客アクティビティをサポートするようにならなければなりません。たとえば、顧客が購入できるようにするには、ストアに販売する商品のカタログ (カタログ・データ)、処理するオーダーに関連するデータ (税および配送データ)、そして、要求を実行する在庫 (在庫およびフルフィルメント・データ) を組み込まなければなりません。

データは 1 つのストアに占有させることも、ストア間で共用することもできます。詳細については、共用データ資産を参照してください。

WebSphere Commerce で提供されるサンプル・ストア・アーカイブにあるストア・データベース資産は整形 XML ファイルでありローダー・パッケージで有効です。ただし例外として、ストア・アーカイブ XML ファイルは移植可能であることを意図しているため、データベースの特定インスタンスに固有の生成された 1 次キーはこれに含めません。代わりに、発行時に IDResolver によって解決される内部別名 (ストア・アーカイブ・ローダーの規則を参照) が使用されます。ストア・アーカイブでは一連の DTD マクロ (XML ではエンティティと呼ぶ) も使用します。これらのマクロは、ストア作成時にストア・サービスで選択する値のプレースホルダーとして作用します。次の 2 つの規則に従うと、サンプル・ストア・アーカイブを複数回コピーして発行することができます。

サンプル・ストア・アーカイブには、機能的なストアの作成に必要なデータベース資産がすべて組み込まれています。これらのファイルは、独自のストア・アーカイブで使用するために変更でき、また独自の XML ファイルを作成するガイドとして使用できます。WebSphere Commerce は、特定のデータを WebSphere Commerce データベースにロードして機能的なストアを作成すること、そしてこのデータをスキーマで決定した順序でロードすることを要求します。たとえば、FFMCENTER テーブルは、STOREENT テーブルの前に取り込みを行う必要があります。サンプル・ストアにはすべての必須データが WebSphere Commerce が必要とする順番と構造で組み込まれているため、独自のストアの基礎あるいはガイドとしてデータベース資産を使用することによって、最初の作成期間の相当の時間を節約することができます。

サンプル・ストア・アーカイブで使用されるデータベース資産ファイルのリストについては、サンプル・ストア・アーカイブ・データベース資産を参照してください。ストア・データの詳細は、*IBM WebSphere Commerce ストア開発者ガイド*を参照してください。

注: サンプル・ストア・データベース資産 XML ファイルの DTD は、ストア・アーカイブ・ファイルにありません。これらのファイルは、以下のディレクトリーにあります。

NT

drive:¥WebSphere¥CommerceServer¥xml¥sar

2000

drive:¥Program Files¥WebSphere¥CommerceServer¥xml¥sar

AIX

/usr/WebSphere/CommerceServer/xml/sar

SOLARIS

/opt/WebSphere/CommerceServer/xml/sar

400

/QIBM/ProdData/WebCommerce/xml/sar

サンプル・ストアのアクセス制御データベース資産

WebSphere Commerce では、すべてのストアにアクセス制御ポリシーがあります。アクセス制御ポリシーは、ユーザーまたはユーザー・グループが特定のアクションを実行する許可を与えます。各ストアごとに、2 つのアクセス制御ポリシー・ファイルがあります。

- `samplestorenameAccessPolicies.xml`
- `samplestorenameAccessPolicies_locale.xml`

`AccessPolicies.xml` および `AccessPolicies_locale.xml` のどちらも、ネイティブの高水準アクセス制御ファイルです。`AccessPolicies.xml` は各国語に依存しないのに対して、`AccessPolicies_locale.xml` は各国語に依存します。どちらのファイルもサンプル・ストアで使用される可能なアクション、アクション・グループ、リソース、 およびポリシー定義で構成されています。これらのファイルはそれぞれ、`AccessPoliciesOut.xml` ファイルと `AccessPoliciesOut_locale.xml` ファイルに変換されます。変換されたファイルはそれぞれデータベースに移植されます。アクセス・ポリシー・ファイルの変換に関する詳細は、以下の関連するリンクを参照してください。

注: 変換済みファイルのみが、大量ロードしたり SAR ファイル内で直接使用することができます。変換前のファイルはそうにできません。

サンプル・ストアのためのデータベース資産情報は以下のセクションに分けることができます。

- アクション
- リソース・カテゴリー
- リソース・グループ
- アクション・グループ
- ポリシー定義

アクション

アクセス制御ポリシーのもとで実行が可能なアクションは、各サンプル・ストアの `AccessPolicies.xml` に定義されます。

リソース・カテゴリー

リソース・カテゴリーはプロテクト可能なリソースを定義します。

リソース・グループ

リソース・グループは、アクセス制御ポリシーによって統制されるリソースを含みます。リソース・グループには、「契約」または「取引ポジション」などのビジネス・オブジェクトや、それに関連した一連のコマンドを含めることができます。各サンプル・ストアの `AccessPolicies.xml` ファイルは、ポリシー内のリソース・グループを定義します。

アクション・グループ

アクション・グループは、アクセス制御ポリシー内のリソース・グループ上で実行が可能なアクションを定義します。これらのグループは、各ストアの `AccessPolicies.xml` ファイルに定義されます。

ポリシー定義

各サンプル・ストアのポリシーは、個々のストアの AccessPolicies.xml ファイルで定義されます。ToolTech サンプル・ストアには 2 つのポリシーがあります。

ToolTech 配送データベース資産 (Business Edition)

Business ToolTech 配送データベース資産は、以下の XML ファイルに保管されます。

- shipping.xml
- store-catalog-shipping.xml
- store-defaults.xml
- shipfulfill.xml

ToolTech 配送データベース資産は以下のセクションに分けることができます。

- 取扱範囲
- 配送モード
- 計算コード
- 計算ルール
- 計算スケール
- 計算範囲
- 計算ルックアップ
- 計算組み合わせ
- 配送実行

取扱範囲

shipping.xml ファイルは、配送の取扱範囲を示します。取扱範囲は JURST テーブルで定義されており、JURSTGROUP はその取扱範囲をグループおよびサブクラスへ割り当てます。また、JURSTPREL はその取扱範囲と取扱範囲グループを同じサブクラスへ割り当てます。

配送モード

配送モードは、運送会社とその配送サービスの組み合わせです。たとえば、「XYZ Carrier、翌日配送」で 1 つの配送モードということになります。配送モードについての情報は、SHIPMODE テーブルに保管されます。

計算コード

計算コードは、割引、配送料、消費税、重量範囲、および配送税を計算するために使用されます。shipping.xml ファイルには、配送のためのすべての計算コードが示されています。CALCODE テーブルは、配送の計算コードを格納します。displaylevel フィールドは、計算された金額とそのソースを示します。

- 0 = オーダー・アイテム
- 1 = オーダー
- 2 = 商品
- 3 = アイテム
- 4 = 契約

計算ルール

各計算コードには、計算がどのように実行されるかを定義する計算ルールのセットがあります。たとえば、商品を1つの地域に配送しようとする場合には、計算に一定のルールを適用できます。また商品を別の地域に配送しようとする場合には、計算に別のルールを適用できます。The CALRULE テーブルは、配送および重量による配送のための計算ルールを保管します。flag フィールドでは、特定 CalculationCode の CalculationCodeQualifyMethod 値を呼び出すかどうかを指定します。

0 = このメソッドは呼び出されません。

1 = このメソッドは呼び出されます。

計算スケール

計算スケールは、計算に適用される範囲のセットです。たとえば、配送料金の場合、それぞれが料金に対応する重量範囲のセットがある場合があります。(配送料金として、重量が 0 kg から 5 kg の商品は 1,000 円、5 kg から 10 kg のものは 1,500 円など。) CALSCALE テーブルは、配送および重量別の配送のためのスケール・コードを、“オーダーごと”に1つ、“アイテムごと”に1つ保管します。

注:CALSCALE テーブルは、通貨を対応する範囲に適用する場合に、その通貨のスケール・コードを保管します。

計算範囲

スケール・コードの範囲は、CALRANGE テーブルに保管されます。calmethod_id_10は“オーダー配送ごと”に使用され、calmethod_id_11 はアイテム配送ごとに使用されます。

計算ルックアップ

計算ルックアップ値は、計算スケールに関連した値です。指定した CALRANGE ID の通貨ごとに、1つのルックアップ値があります。CARLOOKUP テーブルは、ルックアップ ID と値を定義します。

計算組み合わせ

計算ルールとスケール範囲は、組み合わせられて CRULESCALE テーブルに保管されます。計算メソッドおよびルールは組み合わせられて STENCALUSG テーブルに保管されます。計算についてのストアのデフォルトも、このテーブルに保管されます。usageflag フィールドは、OrderPrepare コマンドが計算を使用する方法を制御します。

1 = 使用 - この CalculationUsage を使用します。

2 = チェック - この計算でオーダー・アイテムの値を生成しない場合、EApplicationException を送出します。

配送実行

配送実行資産は、配送取扱範囲グループを計算ルールに、または配送センターをストアの shipmodeに関連付けます。配送実行情報は、SHPJCRULE および SHPARRANGE テーブルに保管され、shipfulfill.xml の中で表示されます。

ToolTech カタログ・データベース資産 (Business Edition)

Business WebSphere Commerce で、catalog.xml ファイルは、サンプル・ストアのカタログ情報を保管しています。各サンプル・ストアには独自の catalog.xml ファイルがあります。詳細は、catalog.xml ファイルを参照してください。

カタログ資産は以下のセクションに分けることができます。

- カタログ・グループ
- カタログ・エンティティ

カタログ・グループ

カタログ・グループは、カテゴリや商品のグループのことです。カテゴリは、それ自体がカタログ・グループになり得ます。たとえば、木工は、のこぎりや紙やすりといった木工を構成するカテゴリの集合ですが、一方紙やすりというカテゴリは商品の集合です。

ToolTech サンプル・ストアにはいくつかのカタログ・グループがあります。

- 木工
- パワー
- コードレス
- アクセサリー

カタログ・グループは、CATGROUP テーブルに作成され、CATTOGRP テーブル内の特定のカタログに関連付けられます。カタログ・グループには、先頭カテゴリとサブカテゴリを含められます。たとえば、先頭カテゴリを木工にして、サブカテゴリをのこぎりにできます。サブカテゴリがある場合、CATGRPREL テーブルでは、先頭カテゴリの下に置く必要があります。

カタログ・エンティティ

ToolTech サンプル・ストアのカタログは、カタログ・エンティティで構成されています。これらのエンティティには、以下のものがあります。

- products (商品)
- アイテム

カタログ・エンティティについての情報は、CATENTRY テーブルにあります。CATENTREL テーブルには、商品アイテム、バンドル、およびパッケージの関連など、カタログ・エンティティ間の関連が示されています。パッケージおよびバンドルの詳細は、パッケージおよびバンドルを参照してください。

商品

BASEITEM テーブルには、ToolTech ストアの各商品ごとに 1 つのエントリがあります。一般に、BASEITEM テーブルのエントリは、複数の商品にマップします。ToolTech ストアの場合、BASEITEM テーブルの各エントリが 1 つの商品にマップします。

各商品には、有効期限によって判別される 1 つのバージョンだけが入ります。したがって、500 ~ 3700 回転/分で、有効期限が 2010 年 1 月 1 日である 2 次旋盤だけを入れられます。商品ごとのバージョン情報は、ITEMVERSN テーブルに保管されます。

ToolTech ストアでは、在庫は他のセラーと共有されていません。その結果、DISTARRING テーブルでは、カタログ内の各商品につき 1 つのエントリーしかありません。DISTARRANG テーブルの各行は配布調整を表し、これによりストアは独自の在庫を販売できるようになります。


アイテム

アイテムは、属性によって定義される商品の特定インスタンスです。すべてのアイテムはカテゴリに入っています。特定アイテムについて記される情報は、ITEMSPC テーブルに保管されます。すべてのアイテムの属性は ATTRVALUE テーブルに保管されています。各アイテムの在庫情報は、RECEIPT テーブルに保管されます。バック・オーダー・アイテムを受け取る予定の日付は、RADETAIL テーブルに示されません。

注: ToolTech ストアでは、カタログは、OFFERPRICE テーブルのアイテムごとに価格を設定します。詳細は、offering.xml ファイルを参照してください。

フルフィルメントへリリースされてからアイテムが配送されるまでの時間は、shippingoffset 変数によって定義されます。たとえば、shippingoffset変数が 86400 秒で、product_baseitem_id_260が配送センター 1 から配送される場合、product_baseitem_id_260 は、配送センターへリリースされてから 86400 秒 (24 時間) で配送されます。

ToolTech 契約、ビジネス・アカウント、およびビジネス・ポリシー・データベース資産 (Business Edition)

 WebSphere Commerce では、すべてのストアにデフォルトの契約が必要です。デフォルトの契約は、contract.xml ファイルに保管されている使用条件 (条件とも言われます) で構成されています。ToolTech サンプル・ストアには、以下のような 2 つのアカウントと 4 つの契約があります。各契約の使用条件がポリシーに言及している場合、そのポリシー情報は policy.xml ファイルに保管されています。アカウント情報は、businessaccount.xml ファイルに保管されています。

注: すべての契約は、contract.xml ファイルに保管されています。contract.xml にはロケール特定バージョンがあります。

契約、アカウントおよびビジネス・ポリシー・データベース資産情報は、以下のセクションに分かれています。

- Contract
- アカウント
- ビジネス・ポリシー

契約

以下の 4 つの契約が ToolTech にあります。

- 契約番号 1234 (組織 A とデフォルトの組織に所属)
- 契約番号 2345 (組織 A と account1 に所属)
- 契約番号 3456 (組織 B と account2 に所属)
- 契約番号 4567 (組織 B と account2 に所属)

使用条件

サンプル・ストアのすべての契約には、使用条件が必要です。使用条件は、契約の中で同意の得られたルール群であり、バイヤーとセラーとの間の購入プロセスを制御します。それぞれの契約ごとに、価格についての一群の使用条件が必要になります。それぞれの契約およびアカウントの条件についての詳細は、以下の関連リンクを参照してください。

契約番号 2345 の場合、カタログのすべての商品について、標準価格から 20 % 割引かれます。オーダー合計価格が 1000 ドルを超える場合、オーダーは OrderApprovalTC の下のバイヤー承認者によって承認される必要があります。この契約のもとで行われるすべてのオーダーの合計金額は、RightToBuyTC に基づいて \$500,000 を超えることはできません。また、顧客は ObligationToBuyTC により、この契約が有効な間に \$100 未満の購入はできません。

注: この契約では、契約が有効になっている間、顧客は \$5,000 ~ \$500,000 までしか消費できません。顧客の合計購入金額が \$500,000 を超えると、その契約の購入限界を超えたことを示すメッセージが表示されます。ObligationToBuyTC の義務はありません。

注: バイヤー承認者を持つ顧客およびバイヤー (購買サイド) の役割だけがオーダーを承認できます。

契約番号 3456 は、組織 B の住所が請求先住所として使用されることを示します。木工、電力、コードレスのカテゴリ内の商品はすべて、標準価格から 25 % 割引かれます。契約番号 4567 の場合、木工および電力の先頭カテゴリ内の商品は、標準価格から 50 % 割引かれます。

さらに、配送料など、他のタイプの課金についても使用条件を設定できます。それぞれの契約は配送料に関する一群の条件を 1 つしか持つことができません。contract.xml の中でバイヤーとセラーについて言及されていなければなりません。

注: 特定の使用条件はアカウント・レベルでのみ指定でき、契約では使用することができません。

アカウント

使用条件

ToolTech ストア内の各アカウントは契約と関連付けられており、それに関連した条件を持ちます。

ToolTech ストアでは、デフォルトの契約と関連付けられるアカウントは 1 つだけで、他のアカウントを関連付けることはできません。ToolTech ストアには 2 つのアカウントがあります。

- Account1- 組織 A 用。このアカウントはデフォルト契約と関連付けられ、購入オーダー条件がありません。
- Account2- 組織 B 用。このアカウントには支払い条件があることがあり、貸付限度額の使用が可能です。

アカウントは、購入オーダー条件および送り状条件を定義します。次の例では、アカウントの送り状の書式および送付方法を定義し、そのアカウントにオーダーを出すときに指定されるブランケット購入オーダー番号を指定します。これらの条件は businessaccount.xml の中で指定されています。

顧客が契約 2345 を使用して購入を行う場合、PurchaseOrderTC に概略されている購入オーダー (PO) 番号を入力する必要があります。個々の購入オーダー番号が作成されていない限り、ブランケット PO 番号を入力する必要があります。顧客には個別の PO 番号を持つことが許されていますが、それぞれの番号は固有で、1 つのオーダーでのみ使用できます。バイヤー連絡先、セラー、およびアカウント所有者については、businessaccount.xml を参照する必要があります。

ビジネス・ポリシー

使用条件

ビジネス・ポリシーは、特定のビジネス・プロセスで、ビジネス上従う必要のあるルールを略述したものです。契約の使用条件で、特定のビジネス・ポリシーに言及している場合、 `contract.xml` ファイルをインポートする前に、 `businesspolicy.xml` を取り込む必要があります。

注: `contract.xml` で言及されているポリシーの中には、 `businesspolicy.xml` の中に含まれないものがあります。このようなポリシーは、ブートストラップ・データの一部です。ブートストラップ・データの詳細は、ブートストラップ・データを参照してください。

ToolTech 組織データベース資産 (Business Edition)

ToolTech サンプル・ストアでは、2 つの組織が `organization.xml` ファイルに移植されています。これらの組織は `businessaccount.xml` ファイルによって使用されます。

ToolTech には以下の 2 つの組織があります。


- 組織 A
- 組織 B

それぞれの組織は `organization.xml` ファイルで設定され、`ORGENTITY` テーブルで定義されます。

契約で請求先として使用される組織住所と配送先住所も `organization.xml` ファイルに移植されます。

注: 同じ組織を使用して複数回 ToolTech ストアを発行することはできません。

ToolTech サンプル・ストアの組織 (Business Edition)

 ToolTech サンプル・ストアには、異なる組織で買い物ができる機能があります。これにより、別個の組織の顧客が、同じ商品について異なる価格を参照できるようになっています。

ToolTech ストアが、ストア発行により発行される際に、以下の 2 つのバイヤー組織が作成されます。

- バイヤー組織 A
- バイヤー組織 B

それぞれのバイヤー組織について、アカウントも作成されます。それぞれのアカウントには、少なくとも 1 つの契約が発行されています。バイヤー組織 A では、顧客はデフォルト契約のもとで購入できます。顧客がいずれの組織にログオンする場合でも、ストア・ヘッダーの右隅に組織のロゴ、そして「ホーム」ページにアカウント・ベースの販売促進 (この組織にセットアップされている場合) が表示されます。顧客は、アカウントに基づいて WebSphere Commerce アクセラレーターを介して販売促進をセットアップでき、異なる組織でログインすると販売促進中の別の商品を表示させることができます。組織のロゴ、契約、アカウントの追加、そして販売促進についての詳細は、以下の関連リンクを参照してください。

デフォルトの組織

顧客が ToolTech ストアに登録し、組織を提供しない場合には、自動的にデフォルト組織の下で買い物することになります。この場合、顧客は、ビジネス・ユーザーとして登録されません。契約番号 1234 は、デフォルト組織に所属しています。

バイヤー組織 A

バイヤー組織 A の下で買い物をする顧客は、 ToolTech ストアで買い物をする際に以下の条件に注意します。

- バイヤー組織 A では、顧客は契約 1234 および 2345 を使用できます。
- 顧客が、バイヤー組織 A としてログオンし、契約 2345 を使用してオーダーを発行する場合には、事前選択された配送先住所および配送方法があります。
- バイヤー組織 A には、契約 2345 の下のブランケット・オーダー番号、B1234567 があります。

注: ブランケット購入オーダーの詳細は、以下の関連リンクを参照してください。

バイヤー組織B

バイヤー組織 B の下で買い物をする顧客は、 ToolTech ストアで買い物をする際に以下の条件に注意します。

- バイヤー組織 B では、顧客は契約 3456 および 4567 を使用できます。
- 顧客が、バイヤー組織 B としてログオンし、契約 3456 を使用してオーダーを発行する場合には、事前選択された請求先住所がチェックアウト時に与えられます。

ToolTech サンプル・ストアの購入オーダー (Business Edition)

Business ToolTech サンプル・ストアの (PO) 購入オーダーのタイプは、2 つあります。

- ブランケット購入オーダー
- 個別購入オーダー

ToolTech ストアでは、組織 A にはブランケット PO 番号 B1234567 があります。顧客は、購入時にこの番号を何度でも使用できます。これ以外の番号は、個別 PO として扱われ、1 つのショッピング・フローにつき一度しか使用できません。

ToolTech サンプル・ストアの契約とアカウント (Business Edition)

Business ToolTech サンプル・ストアには、以下の 4 つの契約があります。

- 契約番号 1234 (デフォルト組織に所属。account1 はデフォルト契約を許可。)
- 契約番号 2345 (組織 A と account1 に所属)
- 契約番号 3456 (組織 B と account2 に所属)
- 契約番号 4567 (組織 B と account2 に所属)

それぞれの契約は、組織およびアカウントに所属し、これに関連する条件があります。条件の詳細は、以下の関連リンクを参照してください。

注: バイヤー組織 A には、デフォルト契約を許可する Account 1 があります。これは、契約自体がデフォルト組織に所属している場合でも同じです。この契約は、アカウントが許可するなら、任意の組織が再利用することができます。

契約 1234

これはストアのデフォルト契約です。契約 1234 の条件は、以下のとおりです。

- ShippingTC - 送料がセラーに支払われます。
- PriceTC - すべての商品に標準価格が付いています。

契約2345

契約 2345 の条件は、以下のとおりです。

- PriceTC - カタログ内の商品はすべて、標準価格から 20% 割引かれます。
- OrderApprovalTC - オーダー合計価格が \$1000 USD を超える場合、オーダーはバイヤー承認者によって承認される必要があります。
- RightToBuyTC - この契約の有効期限内で出されるオーダーすべての合計は、\$500,000 USD を超えてはなりません。
- ObligationToBuyTC - 顧客は、契約の有効期限内に最低でも \$100 は支払わなければなりません。
- PurchaseOrderTC - 顧客は、注文番号を入力しなければなりません。(Account1 に所属)
- ShippingTC - 配送先住所 (OrganizationA_NickName1) および配送方法は、事前選択されています。送料がセラーに支払われます。

注:オーダーを承認できるのは、バイヤー承認者とバイヤー (購買サイド) 役割を持つ顧客だけです。これらの役割の詳細は、以下の関連リンクを参照してください。購入オーダーの詳細は、以下の関連リンクを参照してください。

注:契約 2345 には、3 つの配送条件が関連付けられています。それぞれ、ShippingTCShipToAddress、ShippingTCShippingMode、ShippingTCShippingCharge です。

契約3456

契約 3456 の条件は、以下のとおりです。

- PriceTC - 木工、電力、コードレスのカテゴリ内の商品はすべて、標準価格から 25 % 割引かれます。
- PaymentTC - VISA、マスターカード、およびアメリカン エクスプレスのみ、支払いメソッドで許可されています。請求先住所として組織 B の住所 (OrganizationB_NickName1) が使用されます。
- ShippingTC - 送料がセラーに支払われます。

契約4567

契約 4567 の条件は、以下のとおりです。

- PriceTC - 木工および電力のカテゴリ内の商品は、標準価格から 50 % 割引かれます。
- PaymentTC - 許可される支払いメソッドは、VISA、マスターカード、およびアメリカン エクスプレス、そして貸付限度額です。貸付限度額は、Account2 に所属しています。請求先住所として組織 B の住所 (OrganizationB_NickName1) が使用されます。
- ShippingTC - 配送先住所 (OrganizationB_NickName1) および配送方法は、事前選択されています。送料がセラーに支払われます。

注:

顧客のオーダーに契約 3456 を使用するアイテム、および 4567 を使用する他のアイテムがある場合、クレジット・カードのみが支払い方式として使用できます。

貸付限度額を使用してアイテムを購入するには、契約 4567 を選択しなければなりません。

それぞれのアイテムについて最低価格の契約が自動的に選択されます。

account1 と account2 の両方に、ログオン後 ToolTech ヘッダーの右側にそれぞれの組織ロゴを表示する DisplayCustomizationTC があります。詳細は、以下の関連リンクを参照してください。

すべての条件は、対応する XML ファイルでセットアップされます。詳細については、“ToolTech 契約、アカウント、およびビジネス・ポリシー・データベース資産” を参照してください。

第 5 章 ToolTech store pages

ToolTech ストア・ページ (Business Edition)

Business ToolTech サンプル・ストアは、実際に機能するストアに必要なページはすべて備えています。これらのページは、自分自身のストアで使用するためにカスタマイズしたり、自分自身のストア・ページを作成する場合のガイドとして使用したりできます。

ToolTech ストアには、以下のストア・ページが含まれています。

- サンプル・ストア
- ToolTech サンプル・ストア
- ToolTech 住所録ページ
- ToolTech 検索ページ
- ToolTech 請求先および配送先の情報ページ
- ToolTech カタログ・アイテムの表示ページ
- ToolTech メイン・カテゴリー・ページ
- ToolTech 商品表示ページ
- ToolTech サブカテゴリー・ページ
- ToolTech ホーム・ページ
- ToolTech 確認ページ
- ToolTech 商品納期情報ページ
- ToolTech エラー・ページ
- ToolTech ヘッダー
- ToolTech ログオン・ページ
- ToolTech - 左側のナビゲーション・フレーム
- ToolTech オーダー要約ページ
- ToolTech オーダーの状況ページ
- ToolTech オーダーの状況コード
- ToolTech お客様のオーダー・ページ
- ToolTech クイック・オーダー ページ
- ToolTech 登録ページ
- ToolTech 要求リストへの追加ページ
- ToolTech 新規要求リスト・ページ
- ToolTech 要求リストの表示ページ
- ToolTech 要求リスト・ページ
- ToolTech 要求リストの編集ページ
- ToolTech コラボレイティブ・ワークスペース・ページ
- ToolTech コラボレイティブ・ワークスペース・メンバー・ページ

サンプル・ストア・ページは、ToolTech ストア・アーカイブ・ファイル `tooltech_locale1_locale2.sar` に組み込まれています。このファイルは以下のディレクトリーにあります。

NT

drive:%WebSphere%CommerceServer%samplestores%ToolTech

2000

drive:%Program Files%WebSphere%CommerceServer%samplestores%ToolTech

AIX

/usr/WebSphere/CommerceServer/samplestores/ToolTech

SOLARIS

/opt/WebSphere/CommerceServer/samplestores/ToolTech

/opt/WebSphere/CommerceServer/samplestores/ToolTech

400

/QIBM/ProdData/WebCommerce/samplestores/ToolTech

サンプル・ストアにもとづいてストア・アーカイブを発行すると、ストア・ページは以下のディレクトリーに置かれます。

NT

drive:%WebSphere%AppServer%installedApps%WC_Enterprise_App_instance_name.ear%wcstores.war%storedir

2000

drive:%Program

Files%WebSphere%AppServer%installedApps%WC_Enterprise_App_instance_name.ear%wcstores.war%storedir

AIX

/usr/WebSphere/AppServer/installedApps/WC_Enterprise_App_instance_name.ear/wcstores.war/storedir

SOLARIS

/opt/WebSphere/Appserver/installedApps/WC_Enterprise_App_instance_name.ear/wcstores.war/storedir

/opt/WebSphere/AppServer/installedApps/WC_Enterprise_App_instance_name.ear/wcstores.war/storedir

400

/QIBM/UserData/WebASAdv4/WAS_instance_name/installedApps/WC_Enterprise_App_instance_name.ear/wcstores.war/storedir


各ページの技術的な詳細情報について詳しくは、対応するリンクをクリックしてください。

重要: WebSphere Commerce Studio で機能するために、サンプル・ストア・ページは以下の構文を使用して、コマンドにアクセスする URL を示します。

action="*<%=AddressAdd%>*" ここで *AddressAdd*は URL コマンドです。

以下に示すもっと一般的に使用される構文の代わりに上記の構文を使用します。

ToolTech 住所録ページ (Business Edition)

 ToolTech 住所録ページによって、顧客は配送先および請求先住所を含む住所を住所録に追加できます。

顧客は ログオンすると、ヘッダーの**アカウント**リンクをクリックして、住所録を処理するオプションに移動することができます。住所録をクリックすると、住所録に住所のリスト、各住所の編集および削除を行うオプション、および新規住所を追加するボタンが表示されます。

サンプル・ストア住所録手順は以下の JSP ファイルを使用します。

- UserAccount.jsp (アカウント・ページ)
- AddressBook.jsp (住所録ページ)
- Address.jsp(住所の追加ページおよび住所の編集ページ)

注: Address.jsp は、住所の追加ページと住所の編集ページの両方で使用されます。 addressIdが指定されると、Address.jspが住所の編集ページとしてロードされます。 そうでない場合には、住所の追加ページとしてロードされます。 AddressAdd コマンドのパラメーターとして addressId を指定すると、このコマンドは、指定された addressId のアドレスを更新します。 そうでない場合には、新しい住所が作成されません。

コマンド

UserAccount.jsp は次のコマンドを使用します:

- 住所録フォーム
- UserRegistrationForm

Address.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- AddressUpdate
- AddressAdd

AddressBook.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- アドレス・フォーム

bean

AddressBook.jsp は、以下の bean を使用します。

- AddressBookDataBean
- AddressAccessBean
- OrgEntityDataBean

Address.jsp は、以下の bean を使用します。

- ErrorDataBean
- AddressDataBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客がアカウント・ページの住所録の編集をクリックすると、AddressBookForm コマンドが呼び出されます。次に、AddressBookForm は住所録ページ (AddressBookform.jsp) をロードします。顧客が個人情報の変更をクリックすると、UserRegistrationForm コマンドが呼び出され、「登録の更新」ページがロードされます。

顧客が住所の追加ページ (Address.jsp) のフィールドに情報を入力した後、システムはその住所があるかどうかをチェックします。入力された住所が存在する場合、住所録は更新されます。ない場合には新しい住所が作成されます。たとえば次のとおりです。

```
if (addressId != null)
bUpdateAddress = true;
else
bUpdateAddress = false;
```

顧客が「住所の追加」ページ (Address.jsp) で住所の入力を完了し、送信をクリックすると、AddressAdd コマンドが呼び出されます。顧客が「住所の編集」ページ (Address.jsp) で住所の入力を完了し、送信をクリックすると、AddressUpdate コマンドが呼び出されます。

```
< FORM name="AddressForm"
method="GET" action="AddressUpdate" >
}
else
{

< FORM name="AddressForm" method="GET" action="AddressAdd" > }
```


エラー処理

顧客が、住所の追加ページ (Address.jsp) または住所の編集ページ (Address.jsp) のどちらかで、必須フィールドを完了していない場合には、システムがそのフィールドに再入力するよう通知します。Address_[locale].properties ファイルは、各ロケールが指定する住所中のどんなフィールドが必須かを決定します。

顧客に表示されるエラー・メッセージは次のとおりです。

```
AddAdd_ERROR1 = 「ニックネーム」フィールドにニックネームを入力してください。
AddAdd_ERROR2 = 入力したニックネームはすでに存在しています。別のニックネームを入力してください。
AddAdd_ERROR3 = 「姓」フィールドに姓を入力してください。
AddAdd_ERROR4 = 「住所」フィールドに住所を入力してください。
AddAdd_ERROR5 = 「市区町村」フィールドに市区町村名を入力してください。
AddAdd_ERROR6 = 「都道府県」フィールドに都道府県名を入力してください。
AddAdd_ERROR7 = 「Country/Region (国/地域)」フィールドに国/地域名を入力してください。
AddAdd_ERROR8 = 「郵便番号」フィールドに郵便番号を入力してください。
```

ToolTech 検索ページ (Business Edition)

 検索結果ページ ResultList.jspは、顧客が左側のナビゲーション画面 NavSideBar.jsp、または拡張検索ページ AdvancedSearch.jsp から検索要求を入力した後に表示されます。

bean

ResultList.jsp は、以下の bean を使用します。

- CatalogDataBean
- CategoryDataBean
- CatEntrySearchListDataBean
- CatalogEntryDataBean
- CatalogEntryDescriptionAccessBean
- CatalogEntryAccessBean
- AttributeValueDataBean
- AttributeDataBean
- ItemDataBean

AdvancedSearch.jsp は、以下の bean を使用します。

- CatalogDataBean
- CategoryDataBean

コマンド

ResultList.jspは、以下のコマンドを使用します。

- ProductDisplay
- AdvancedSearchView
- CatalogSearchResultView

AdvancedSearch.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- CatalogSearchResultView

NavSideBar.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- CatalogSearchResultView
- AdvancedSearchView

NavSideBar.jspが使用する他のコマンドについては、 ToolTech 左側のナビゲーション・フレームを参照してください。

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客が左側のナビゲーション画面 NavSideBar.jspで **GO** をクリックするか、拡張検索ページ AdvancedSearch.jspで**送信**をクリックすると、 ResultList.jsp が表示されます。

SearchResults.jspで CatEntrySearchListDataBean がアクティブになると、すべての検索結果をデータベースから検索します。

```
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(catEntSearchListBean, request);
```

requestパラメーターは URL スtringで、 ResultList.jspページに渡されます。

CatEntrySearchListDataBean では、メソッド getResultList()が CatalogEntryDataBean 配列を戻します。

各 CatalogEntryDataBean は、検索結果ページにリストされる 1 つの結果です。 getResultList()メソッドは、ページあたりの結果の特定の数を戻します。この数は、CatEntrySearchListBean がアクティブにされるときに、 pageSize 変数を使って URL 要求住所で指定されます。ユーザーの検索基準に一致する複数の結果が出る場合もあります。結果が表示されたら、顧客は前へおよび 次へ を使ってすべての結果をナビゲートすることができます。この機能を利用するために、URL パラメーター beginIndexが catEntrySearchListDataBean に渡され、 beginIndex の数値から始まる結果を取り出すよう通知します。たとえば、最初のページがゼロから開始する場合、beginIndexはゼロと同等値です。顧客がページごとに 10 の結果を選択する場合、次へをクリックすると、beginIndex の値は 10 になります。

NewFashion サンプル・ストアでは、検索結果には商品だけが表示されます。 ToolTech サンプル・ストアでは、拡張検索ページで指定された検索基準に基づいて、表示内容を選択することができます。

CatalogSearchResultView コマンドが呼び出されると、 resultType 変数が URL 引き数としてそのコマンドに渡されます。 resultType変数は、商品、アイテム、またはその両方を検索するよう CatEntrySearchListBean に命令します。

- 1 = アイテムのみをリスト。
- 2 = 商品のみをリスト。
- 3 = アイテムと商品の両方をリスト。

以下のコードは商品のみをリストします。


```
<input type="hidden" name="resultType" value="2">
```

制限

ToolTech ストア・カタログは、階層構造になっており、木工、電源装置、コードレス、およびアクセサリなどの先頭カテゴリーが最上部にあり、のこぎり、旋盤などのサブカテゴリーがその下に位置します。

顧客が**拡張検索**を選択するとき、カテゴリー内で検索することを選択した場合、選択された特定の先頭カテゴリーまたはサブカテゴリー内しか検索できません。たとえば、顧客が木工カテゴリーの下を検索する場合、直接そのカテゴリーの下にある商品が表示されることとなります。木工の下の商品であるのこぎりのサブカテゴリーは表示されません。のこぎりのサブカテゴリーを検索するには、その特定のカテゴリーを選択し、検索結果が表示されるようにする必要があります。

ToolTech 請求先および配送先の情報ページ (Business Edition)

 顧客がオーダー・ページから**次へ**をクリックした後、請求先および配送先の情報ページ、Shipping.jspが表示されます。Shipping.jsp は、オーダー中の各アイテムごとに、数量、契約名、属性を含む詳細、配送先住所、および配送方法を表示します。このページから、オーダーの契約で指定済みの条件にしたがって、顧客は以下のタスクを実行できます。

- 請求先住所の選択。
- オーダーの各アイテムごとの配送先住所の選択。
- オーダーの各アイテムごとの配送方法の選択。

コマンド

Shipping.jspは、以下のコマンドを使用します。

- OrderCopy
- AllocateCheck
- 住所録フォーム

bean

Shipping.jspは、以下の bean を使用します。

- OrderDataBean
- UseablePaymentTCListDataBean
- AddressAccessBean
- OrderItemDataBean
- ShippingModeAccessBean
- AddressDataBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客がオーダー・ページで **次へ** をクリックすると、 OrderItemDisplay コマンドがパラメーター page=shipmethodを伴って呼び出されます。 OrderItemDisplay は OrderItemDisplayViewShiptoDsp ビュー・コマンドを呼び出し、このコマンドによって OrderItemDisplay.jsp に進みます。 OrderItemDisplay.jsp には shipping.jspが組み込まれますが、これはページ・パラメーターが shipmethod であるためです。

UsablePaymentTcListDataBean は、支払条件から支払い情報を検索します。

注: 支払条件は、オーダー・ページで顧客が選択した支払条件に対応します。

契約の支払条件で請求先住所が指定されない場合、顧客はドロップダウン・リストから住所を選択することができます。 ドロップダウン・リストには、顧客の住所録にある住所が入っています。


AddressAccessBean は、次のように住所を検索します。

```
// ask buyer to select a billing address if one is not specified in the payment TC
if (!bBillAddressInTC) {
    // Get the list of addresses
    AddressAccessBean abAddressFinder = new AddressAccessBean();
    Enumeration enAddressList = abAddressFinder.findByMemberId(userRef);
```

顧客が新しい住所を追加するには、**住所録** をクリックします。すると AddressBookForm コマンドが立ち上がり、住所録ページ Addressbook.jsp が表示されます。

顧客が**次へ** をクリックすると、 ShipMethodForm が送信され、 OrderCopy および AllocationCheck コマンドが呼び出されます。 OrderCopy は請求先住所を設定し、選択された配送先住所と配送方法でオーダー・アイテムを更新します。 AllocationCheck は、オーダー・アイテムに入手できないものがあるかどうか判別します。入手できないものがある場合は「商品納期情報」ページが表示され、ない場合は、「オーダー要約」ページが表示されます。

ToolTech メイン・カテゴリー・ページ (Business Edition)

 **Business** 顧客がホーム・ページ `CatalogMainDisplay.jsp`で**カタログの参照**をクリックすると、メイン・カテゴリー・ページ `CatalogTopCategoriesDisplay.jsp` が表示されます。

コマンド

`CatalogTopCategoriesDisplay.jsp` は、以下のコマンドを使用します。

- `CategoryDisplay`
- `ProductDisplay`

bean

`CatalogTopCategoriesDisplay.jsp` は、以下の bean を使用します。

- `CatalogDataBean`
- `CategoryDataBean`
- `ProductDataBean`
- `ItemDataBean`


インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客がホーム・ページ `CatalogMainDisplay.jsp`で **カタログの参照**をクリックすると、`CatalogDataBean` が先頭カテゴリーを検索し、メイン・カテゴリー・ページ `CatalogTopCategoriesDisplay.jsp` がカテゴリーとサブカテゴリーの表題を表示します。

顧客が承認保留状態である場合、ログオンしてカタログを表示することはできません。この状態では、アカウント・ページに移動して、個人情報を変更し、住所録を編集することしかできません。顧客が承認されているか、または承認保留状態でない場合、正規のカタログが表示されます。

ToolTech 商品表示ページ (Business Edition)

 **Business** 顧客がサブカテゴリー・ページ `CategorySubcategoriesDisplay.jsp`で商品、アイテム、パッケージまたはバンドルを選択すると、商品表示ページ `CatalogProductDisplay.jsp` が表示されます。

コマンド

`CatalogProductDisplay.jsp` は、以下のコマンドを使用します。

- `ProductDisplay`

bean

`CatalogProductDisplay.jsp` は、以下の bean を使用します。

- `ProductDataBean`
- `AttributeAccessBean`
- `ItemAccessBean`

- CategoryDataBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客がサブカテゴリー・ページ `CategorySubcategoriesDisplay.jsp` で商品を選択すると、`ProductDisplay` コマンドが商品表示ページ `CatalogProductDisplay.jsp`をロードします。 `ItemAccessBean` は商品からアイテムを取得し、 `AttributeAccessBean` は属性を取得します。すると、商品に関連したアイテムおよび属性がページに表示されます。

```
//AttributeAccessBean attributes[] = product.getAttributes(); //AttributeAccessBean attribute;

// get items from product


ItemAccessBean iabs[] = product.getItems(); ItemAccessBean iab;
CatalogEntryDescriptionAccessBean cedab;

CategoryDataBean parentCategory = null;

if (parentCategoryId != null) { parentCategory = new CategoryDataBean ();
parentCategory.setCategoryId(parentCategoryId);
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(parentCategory, request); } %>
```

顧客が「Catalog Item Display (カタログ・アイテムの表示)」ページ上でアイテムをクリックすると、`CatalogItemDisplay.jsp` ページが表示されます。

ToolTech サブカテゴリー・ページ (Business Edition)

 顧客がメイン・カテゴリー・ページ `CatalogTopCategoriesDisplay.jsp`から、サブカテゴリーを選択すると、サブカテゴリーの表示ページ `CatalogSubCategoriesDisplay.jsp`が表示されます。

コマンド

`CatalogSubCategoriesDisplay.jsp`は、以下のコマンドを使用します。

- SubCategoryDisplay
- CategoryDisplay
- ProductDisplay

bean

`CatalogSubCategoriesDisplay.jsp`は、以下の bean を使用します。

- CategoryDataBean
- ProductDataBean
- ItemDataBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

CatalogMainDisplay.jsp では、登録済み顧客にバイヤー承認者の役割があるかどうかをチェックします。その場合はホーム・ページがロードされます。登録されていないゲストの顧客は、ログオン・ページにリダイレクトされます。

承認済み顧客がホーム・ページの**カタログの参照**をクリックすると TopCategoriesDisplay コマンドが呼び出され、メイン・カテゴリ・ページ CatalogTopCategoriesDisplay.jspが表示されて、顧客はそこでカタログをブラウズすることができます。

LogonForm.jspページは、サンプル・ストアのホーム・ページを呼び出すための URL を指定する index.jsp ページによって立ち上げられます。index.jspページは、ストアを立ち上げるために必要なパラメーターを含む parameters.jspファイルを呼び出します。

顧客にバイヤー管理者の役割がある場合は**承認ツールへ移動**リンクが表示され、承認処理を開始することができます。

```
function ApprovalToolLink() { //checkBrowser() function is called in NavSideBar.jsp when this
page is loaded. //bRightBrowser variable will be populated. if (bRightBrowser) {
RFQwindow=window.open('<%=ApprovalToolLinkURL%>'); } else {
window.location.href('<%=BrowserVerErrorURL%>'); }
```

バイヤー管理者はユーザーを承認し、顧客が ToolTech ストアで購入できるようにバイヤー (購買サイド) 役割を割り当てます。この役割には、バイヤー組織の情報の保守を行う責任もあります。


注:承認ツールは、顧客にバイヤー管理者またはバイヤー承認者の役割がある場合だけ表示されます。

承認保留中の状態の顧客はログオンしてカタログを見ることはできません。それらの顧客はアカウント・ページにリダイレクトされます。顧客が承認されているか、または承認保留状態でない場合、正規のカタログが表示されます。

```
if (userState.equals("0")) { // User is pending approval - cannot logon %> <center> <font
class="text">User State: Pending Approval<br> <a
href="LogonForm?langId=<%=languageId%>&storeId=<%=storeId%>&catalogId=
<%=catalogId%>&page=sidebar">Logon</a> </font> </center> <% } else if ((userState.equals("1") ||
userState.equals("")) && bnRegUser.findUser()) {
```

顧客が組織 A または B を使用してログオンした場合は、ページ・ヘッダーの右の部分にその組織のロゴが表示されます。

ToolTech 確認ページ (Business Edition)

 顧客が「オーダー要約」ページの**オーダー**をクリックすると「オーダーの確認」ページに OrderOKView コマンドが転送され、Confirmation.jspページが表示されます。「オーダーの確認」ページには、オーダー全体のオーダー番号、小計、税合計、配送料、総計、および配送見積日付が表示されます。2つのオーダーを処理している場合、両方のオーダーの情報が確認ページに表示されます。

bean


confirmation.jsp は、以下の bean を使用します。

- PayStatusPMDaBean
- OrderDataBean

インプリメンテーション

PayStatusPMDaBean は、オーダーの支払い状況の情報を検索します。 OrderDataBean は、システムのオーダー情報を検索します。

ToolTech 商品表示ページ (Business Edition)

 顧客は ToolTech 商品納期情報ページ CheckProdAvail.jspで、オーダーの中で現在入手できないアイテムとそれらのアイテムの予定配送日を見ることができます。

現在、一部のアイテムの在庫がない場合、顧客はオーダーを分割して入手可能なアイテムのみを購入するか、またはすべてのアイテムが入手可能になるまで待つよう配送設定を選択することができます。 また、顧客にはオーダーからそのアイテムを除去するオプションもあります。

注: このページは、一部のオーダー・アイテムが入手できない場合に表示されます。

コマンド

CheckProdAvail.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- ProductDisplay
- OrderPrepare
- OrderItemUpdate
- OrderItemMove
- OrderDisplay
- OrderItemDisplay

bean

CheckProdAvail.jsp は、以下の bean を使用します。

- OrderDataBean
- OrderItemDataBean
- ItemSpecificationDataBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

商品納期情報ページは、一部のオーダー・アイテムが入手できない場合にのみ表示されます。

AllocationCheck.jsp は、入手できないアイテムがないか調べます。

すべてのアイテムが入手不可の場合、またはすべてのアイテムが入手可能の場合、 AllocationCheck.jsp ページは OrderDisplayPending.jspに関連付けられた OrderDisplay コマンドに転送されます。 それ以外の場合は、AllocationCheck.jsp が CheckProductAvail.jsp ページを組み込みます。


CheckProductAvail.jspページによって、顧客はオーダーの中のアイテムごとの販売開始日を見ることができます。オーダーのアイテムのいずれかが在庫にない場合、顧客はオーダーの配送の設定の選択オプションから配送オプションを選択します。

顧客は次の 2 つの配送オプションから選択することができます。

1. オーダー全部が配送準備完了になるまで待つ。
2. 在庫にあるアイテムをすぐ配送し、残りは入手可能になったときに配送する。

顧客が 2 番目のオプションを選択した場合、そのオーダーは OrderItemMove コマンドによって 2 つの別々のオーダーに分割されます。

ToolTech エラー・ページ (Business Edition)

 ToolTech サンプル・ストアには、以下のエラー・ページがあります。

- BrowserVerError.jsp (ブラウザー・バージョン・エラー・ページ)
- GenericError.jsp (一般エラー・ページ)
- InvalidQuantityError.jsp (無効な数量エラー・ページ)
- MergeError.jsp(マージ・エラー・ページ)

インプリメンテーション

ブラウザー・バージョン・エラー・ページ BrowserVerError.jspは、適用できないバージョンの Microsoft Internet Explorer を顧客が使用している場合に、顧客が**バイヤー承認者**リンクまたは **RFQ 要求**リンクをクリックすると表示されます。次のエラー・メッセージが表示されます。

サポートされていない Web ブラウザーを使ってページにアクセスしようとした。このページにアクセスするには、Microsoft Internet Explorer 5.5 以降を使用してください。そのバージョンの Web ブラウザーは、www.microsoft.com/downloads からダウンロードすることができます。

一般エラー・ページ GenericError.jspは、ToolTech ストアに関してシステムの問題がある場合に表示されます。次のエラー・メッセージが表示されます。

このストアでは、現在問題が発生しています。後でもう一度やり直してください。

無効な数量エラー・ページ InvalidQuantityError.jspは、顧客が商品表示ページから商品をショッピング・カートに追加しようとしたとき、数量フィールドに無効な数量 (たとえば文字) を入力した場合に表示されます。

マージ・エラー・ページ MergeError.jspは、異なる支払いメソッドを使用した複数のオーダーをシステムがマージしようとしたときに表示されます。通常は、顧客が「お客様のオーダー」ページにアクセスしようとしたときに、マージが発生します。

顧客がアクセス制御によって保護されているページにアクセスしようとする、エラー・メッセージ・キー `_ERR_USER_AUTHORITY` によってアクセス制御ページが引き当てられます。登録済み顧客がアクセス制御によって保護されているページにアクセスしようとする、次のエラー・メッセージが表示されます。

このページにアクセスする権限がありません。

ゲスト顧客がアクセス制御によって保護されているページにアクセスしようとする、次のエラー・メッセージが表示されます。

ストアにアクセスするためには、ログインする必要があります。

ToolTech - ヘッダー (Business Edition)

Business ToolTech サンプル・ストアには各ページの先頭にヘッダー (NavHeader.jsp) があり、以下のリンクが含まれています。

- ホーム
- カタログ
- アカウント
- 現在のオーダー
- オーダー状況
- 要求リスト
- ログオフ
- 共同ワークスペース

顧客がログインしたとき、登録済みかつ承認済みであれば、上記のリンクが表示されます。そうでない場合は、**アカウント**および**ログオフ**・リンクだけが表示されます。顧客がその組織のロゴを `businessaccount.xml` ファイルに追加すると、ヘッダーの右側にそれが表示されます。ToolTech への組織のロゴの追加についての詳細は、以下の関連リンクを参照してください。

注: コラボレイティブ・ワークスペースリンクは、ストア・サービスでコラボレイティブ・ワークスペース機能が使用可能な場合に、登録済みの顧客だけに表示されます。コラボレイティブ・ワークスペースの詳細は、下記の『インプリメンテーション』セクションを参照してください。

コマンド

NavHeader.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- StoreCatalogDisplay
- TopCategoriesDisplay
- LogonForm
- RequisitionListDisplay
- OrderItemDisplay
- オーダー状況追跡
- Logoff
- StoreCollabListDisplay

bean

NavHeader.jsp は、以下の bean を使用します。

- StoreDataBean
- CatalogDataBean
- UserRegistrationDataBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

NavHeader.jspがロードされると、UserRegistrationBean が、顧客がアクセス権を持っていないリンクをフィルターに掛けます。顧客がアクセス権を持っている特定のフィーチャーだけが、ヘッダーに表示されます。リンクをクリックすると、それぞれの該当するページが顧客に表示されます。

顧客がホームをクリックすると、StoreCatalogDisplay コマンドによって CatalogMainDisplay.jsp ページがロードされます。

顧客がカタログをクリックすると、TopCategoriesDisplay コマンドによってメイン・カテゴリ表示ページ CatalogTopCategories.jsp がロードされます。

顧客がアカウントをクリックすると、LogonForm コマンドによって LogonForm.jspがロードされ、これによって LogonDisplay.jsp にリダイレクトされます。

顧客が現行オーダーをクリックすると、OrderItemDisplay コマンドによって、「お客様のオーダー」の OrderItemDisplay.jsp ページがロードされます。

顧客がオーダーの状況をクリックすると、TrackOrderStatus コマンドによって TrackOrderStatus.jsp ページがロードされます。

顧客が要求リストをクリックすると、RequisitionListDisplay コマンドによって「要求リスト」ページがロードされます。

顧客がコラボレイティブ・ワークスペースをクリックすると、StoreCollabListDisplay コマンドによって「コラボレイティブ・ワークスペース」の StoreCollabListDisplay.jsp ページがロードされます。コラボレイティブ・ワークスペースリンクは、カスタム・タグ (ifEnabled タグ) の本体内に含まれ、ストア・サービスで選択するオプションに基づいて使用可能または使用不可にすることができます。カスタム・タグが残されている限り、JavaServer Pages (JSP) を変更せずに、ストア・サービスを使用して、コラボレーション・サポートを持つサイトと持たないサイトを自動的に切り替えることができます。ページ内のコラボレーション・サポートを永続的に使用可能または使用不可にするために、ストア・サービスの GUI で **Apply Permanently (永続的に適用)** をクリックすることにより、JavaServer Pages (JSP) からカスタム・タグとコラボレイティブ・ワークスペースリンクを除去できます。カスタム・タグやタグの間のコードを手動で除去したり変更することはお勧めできません。その代わりに、ストア・サービスの **Apply Permanently (永続的に適用)** ボタンを使用してください。

注: コラボレイティブ・ワークスペースリンクの前後にあるカスタム・タグは、他のストアの JavaServer Pages (JSP) へコピーすることはできません。これらのタグは、元々それらのタグが含まれていたストアで機能することを意図しています。コラボレーションの詳細は、以下の関連リンクを参照してください。

顧客がログオフをクリックすると、顧客はログオフされます。ログオフした顧客の登録済み情報は使用できません。また、ログオフした顧客はカタログをブラウズしたりアイテムをオーダーすることはできません。それらの顧客はゲスト・ショッパーとして扱われます。顧客が再度ショッピングできるようになるためには、ログオンする必要があります。

注: ストアでカスタマー・ケア機能が使用可能な場合、顧客が登録されていれば、その名前を検査します。その後、顧客名は、顧客サービス担当者側と顧客側の両方に表示されるカスタマー・ケア・アプレットへ送信されます。NavHeader.jspページは、ToolTech の各ページに含まれているため、そのページが個別設定されているかどうかについても、コードの一部を見て判別します。UserRegistrationUpdate.jspのような

JavaServer Pages (JSP) が個人ページであれば、NavHeader.jsp が組み込まれる前に、UserRegistrationUpdate.jsp ページにコードが追加されます。

```
<flow:ifEnabled feature="customerCare">

<%

// LiveHelp 用のこの JSP に必要なヘッダー・タイプをセットします。 これは

// NavHeader.jsp の前にセットする必要があります

request.setAttribute("liveHelpPageType", "personal");

%>

</flow:ifEnabled>

<%

String incfile;


incfile = includeDir + "NavHeader.jsp";

%>

<jsp:include page="<%=incfile%>" flush="true"/>
```

このコードが、この要求は個人ページ向けだと判断したときは、顧客サービス担当者は、顧客がいるページを表示することはできません。 カスタマー・ケア機能の詳細は、下記の『関連概念』を参照してください。

ToolTech ログオン・ページ (Business Edition)

 登録済み顧客は、サンプル・ストア・ログオン・ページでログインすることができます。ログオン・ページは ToolTech ストアの最初のエントリー・ポイントです。登録済み顧客はユーザー ID とパスワードを入力してストアに入るか、またはパスワードを忘れた場合はリンクを選択してストアに入ることができます。新規顧客はリンクを選択して最初の登録を行います。顧客はすべて、ストアで表示される言語を選択することができます。

サンプル・ストア・ログオン手順は、以下のファイルを使用します。

- Logoff.jsp(Logoff コマンドのパラメーターを含む。顧客には表示されません。)
- LogonDisplay.jsp (ログオン・ページ)
- LogonForm.jsp (Logon コマンドのパラメーターが含まれていますが、顧客には表示されません。)
- LogonResetPassword.jsp(「パスワードをお忘れですか?」ページ)
- LogonResetPasswordNotify.jsp (顧客に送信される E メール通知を形式設定するパネル。)
- LogonResetPasswordChange.jsp(顧客のパスワードを変更するためのパネル。顧客のパスワードの有効期限が切れている場合、その顧客がログインした後にこのページが表示されます。)

コマンド

LogonDisplay.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- ログオン
- LogonForm
- ResetPasswordForm
- UserRegistrationForm

LogonResetPassword.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- ResetPassword
- LogonForm

LogonResetPasswordChange.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- ResetPassword

bean

LogonDisplay.jsp は、以下の bean を使用します。

- SupportedLanguageAccessBean
- LanguageDescriptionAccessBean
- ErrorDataBean
- CatalogDataBean

LogonResetPassword.jsp は、以下の bean を使用します。

- ErrorDataBean

インプリメンテーション

注:多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法についての詳細は、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客がログオン ID とパスワードを入力して**送信**をクリックすると、Logon コマンドが呼び出されます。ログオンが正常に行われると、StoreCatalogDisplay コマンドが実行されて CatalogMainDisplay.jsp ページが表示されます。ログオンが失敗した場合、LogonForm コマンドが呼び出されてログオン・ページが再ロードされ、エラー・メッセージが表示されます。顧客が組織 A または B としてログオンしている場合は、ヘッダーの右の部分にその組織のロゴが表示されます。ストアへの組織のロゴの追加についての詳細は、以下の関連参照を参照してください。

顧客が自分のパスワードを忘れていて**パスワードをお忘れですか?**をクリックすると、ResetPasswordForm がパスワードのリセット・ページ、LogonResetPassword.jsp をロードします。ResetPassword コマンドは顧客のパスワードをリセットして、ResetPasswordForm コマンドを呼び出します。パスワードがリセットされた後に、新規パスワードを知らせる E メール通知が顧客に送信されます。

顧客のパスワードの有効期限が切れている場合、顧客は、LoginDisplay.jsp ページでそのログインを完了した後、強制的にパスワードを変更させられ、LogonResetPasswordChange.jsp ページに転送されます。

顧客が、リセットしたパスワードを変更するようという通知を受けると、ResetPasswordForm コマンドが LogonResetPasswordChange.jsp ページをロードします。処理が正常に行われると、LogonForm コマンドが呼び出され、LogonForm.jsp がアカウント・ページを表示します。正常に行われなかった場合は、ChangePassword コマンドが呼び出され、LogonResetPasswordChange.jsp ページが再び表示されます。

顧客が登録をクリックすると、 UserRegistrationForm コマンドが呼び出されて登録ページが表示されます。

顧客が言語を選択すると、 LogonForm コマンドが呼び出されて、言語が切り替えられ、ログオン・ページが再ロードされます。 LanguageDescriptionAccessBean は、顧客が選択した言語での言語の表示名を取得します。 SupportedLanguageAccessBean および LanguageDescriptionAccessBean は、ストア内でサポートされているすべての言語をデータベースから検索し、それをログオン・ページ上で顧客に表示します。

エラー処理

ログインに問題があるときは、 LogonForm コマンドが呼び出されます。 LogonForm によって LogonDisplay.jsp が再ロードされ (LogonForm.jsp 経由)、その問題を示すエラー・メッセージが表示されます。


発生することがあるログインの問題のタイプとして、次のものがあります。

- ユーザー ID またはパスワードの欠落
- 無効なユーザー ID またはパスワード
- ユーザー ID に関連付けられている顧客がアクセスを拒否されている、または権限がない

パスワードのリセットまたは変更の際に問題があると、 LogonResetPasswordChange.jsp ページと LogonResetPassword.jsp ページによって、以下のエラーがチェックされます。

- パラメーターの欠落
- 無効パスワード (ストアのパスワード・ポリシーによって異なる。これには、長さ、連続文字、および桁数のそれぞれの最小と最大が含まれます。)

ToolTech - 左側のナビゲーション・フレーム (Business Edition)

 登録済み顧客は、 ToolTech ストアの左側のナビゲーション・フレーム (NavSideBar.jsp) で、以下のことを行うことができます。

- カタログでアイテムの検索ができる
- 拡張検索のページにリンクできる。
- SKU とアイテムを入力して、クイック・オーダーができる。
- RFQ Tool と立ち上げる。
- RFQ 買い物候補リストにリンクできる。
- 顧客アシスタンスとのライブ・チャットを使用可能にする。

注: 検索、拡張検索、およびクイック・オーダー の各リンクが、すべての登録済み顧客に表示されます。買い物候補リスト (RFQ 用) や Launch RFQ Tool (RFQ ツールの立ち上げ) を含む見積依頼セクションは、バイヤー (購買サイド) の役割を持つ顧客にのみ表示されます。 **Live Chat with Customer Assistance (顧客アシスタンスとのライブ・チャット)** リンクは、ストア・サービスを使用してストア内で使用可能された場合にのみ表示できます。ゲストのショッパーは、左のナビゲーション・フレームのこれらのリンクを目にすることができません。

コマンド

NavSideBar.jsp は次のコマンドを使用します:

- CatalogSearchResultView

- AdvancedSearchView
- OrderItemAdd
- QuickOrderView
- InterestItemDisplay

bean

NavSideBar.jsp は次の bean を使用します:

- InterestItemAccessBean
- RoleDataBean
- UserRegistrationDataBean

インプリメンテーション詳細情報

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客が検索フィールドにキーワードを入力して **GO** をクリックすると、CatalogSearchResultView コマンドによって検索基準が送信され、ResultList.jsp ページがその検索結果とともに表示されます。

顧客が**拡張検索**リンクをクリックすると、AdvancedSearchView コマンドによって拡張検索ページがロードされます。

顧客が「クイック・オーダー」フィールドに SKU を入力して **GO** をクリックすると、QuickOrderForm コマンドによって OrderItemAdd コマンドが呼び出されて、その SKU がオーダーに追加されます。QuickOrderView コマンドがクイック・オーダーつまり QuickOrder.jsp ページをロードします。

顧客がナビゲーション・サイド・バーの**追加のアイテムの入力**をクリックすると、QuickOrderView コマンドによって「クイック・オーダー」ページがロードされます。顧客はそのページに SKU のリストを入力して、オーダーに追加することができます。

RFQ のセクションはバイヤー（購買サイド）の役割をもつ顧客にのみ表示されます。RFQ Tool は、アイテムが指定されている買い物候補リストを必要とします。顧客が**買い物候補リスト (RFQ 用)**をクリックすると、「買い物候補リスト (RFQ 用)」ページ InterestItemDisplay.jspが表示されます。顧客が**Launch RFQ Tool (RFQ ツールの立ち上げ)**をクリックし、顧客の役割がバイヤー（購買サイド）であれば、RFQ ツールが立ち上げられて顧客に表示されます。

顧客の買い物候補リストに何もアイテムが入っていない場合、買い物候補リストが空であることを伝えるアラート・メッセージが表示されて、RFQ 要求の作成方法に関する説明が「買い物候補リスト (RFQ 用)」ページに表示されます。

注: 顧客が**Launch RFQ Tool (RFQ ツールの立ち上げ)**リンクにアクセスするためには、Internet Explorer 5.5 が必要です。RFQ 要求を送信するには、顧客はビジネス・ユーザーであり、バイヤー（購買サイド）の役割が割り当てられている必要があります。登録時において、顧客が親組織を指定していない場合には、非ビジネス・ユーザーとしてログオンされると扱われます。そして、再登録が必要であり、デフォルトの組織、ルート組織以外のバイヤー組織の指定が必要です。

顧客が**Live Chat with Customer Care (カスタマー・ケアとのライブ・チャット)**をクリックすると、画面にポップアップ・ウィンドウが表示され、顧客はオンライン上で顧客サービス担当者と同リアルタイムにチャットできます。このリンクは、この機能がストア・サービスで使用可能になっている場合にのみ表示さ

れます。 **Live Chat with Customer Assistance (顧客アシスタンスとのライブ・チャット)**リンクは、カスタム・タグのペア (<flow:ifEnabled feature="customerCare"> タグと </flow:ifEnabled>タグ) の本体内に含まれ、ストア・サービスで選択するオプションに基づいて使用可能または使用不可にすることができます。 カスタム・タグが残されている限り、JavaServer Pages (JSP) を変更せずに、ストア・サービスを使用して、コラボレーション・サポートを持つサイトと持たないサイトを自動的に切り替えることができます。 ページ内のコラボレーション・サポートを永続的に使用可能または使用不可にするために、ストア・サービスの GUI で **Apply Permanently (永続的に適用)** をクリックすることにより、JavaServer Pages (JSP) からカスタム・タグと **Live Chat with Customer Care (カスタマー・ケアとのライブ・チャット)** リンクを除去できます。カスタム・タグやタグの間のコードを手動で除去したり変更することはお勧めできません。 その代わりに、ストア・サービスの「**Apply Permanently (永続的に適用)**」を使用してください。

注:Live Chat with Customer Care (カスタマー・ケアとのライブ・チャット)リンクの前後にあるカスタム・タグは、他のストアの JavaServer Pages (JSP) へコピーすることはできません。 これらのタグは、元々それらのタグが含まれていたストアで機能することを意図しています。 コラボレーションの詳細は、以下の関連リンクを参照してください。

ToolTech オーダー要約ページ (Business Edition)

Business 顧客はオーダー要約ページ (OrderDisplayPending.jsp) で、購買アイテムの説明の他に、SKU 番号、数量、製造業者、合計価格、配送先住所、配送方法、契約、割引金額、および配送料金を含む詳細なオーダー情報を確認することができます。

顧客の契約で購入オーダー (PO) 番号が指定されている場合、顧客は**購入オーダー**・フィールドにその番号を入力する必要があります。 PO 番号の入力フィールドは、その番号が必要な場合だけ表示されます。 複数のオーダーが存在する場合は、PO の必要な各オーダーごとに「注文」入力ボックスが表示されます。 各ボックスに入力される番号は固有の数値、またはブランク PO でなければなりません。 次に顧客は支払い情報を指定し、**オーダー**をクリックして、オーダーを完了する必要があります。 顧客は**オーダー**をクリックする前に、そのオーダーをスケジュールされたオーダーにするように選択することができます。

注:「お客様のオーダー」の ShoppingCart.jsp ページで、支払いメソッドとして貸付限度額が選択されると、データベースから貸付限度額のアカウント番号が検索されます。 顧客はこのページで、支払いメソッドを貸付限度額から別のオプションに変更することはできません。

サンプル・ストア「オーダー要約」ページは、以下の JSP ファイルを使用します。

- OrderDisplayPending.jsp (「オーダー要約」ページ)
- StandardCreditCard.jsp (顧客が「お客様のオーダー」の ShoppingCart.jsp ページで支払いメソッドとしてクレジット・カードを選択した場合。)
- SimpleCreditLine.jsp (顧客が「お客様のオーダー」の ShoppingCart.jsp ページで支払いメソッドとして貸付限度額を選択した場合。)
- MultiOrderProcess.jsp (顧客がオーダーを 2 つに分割してオーダーを 2 つ作成した場合に、1 度に 2 つのオーダーを処理するために使用。)
- AllocationCheck.jsp(オーダー・アイテムの購入可能な在庫が十分あるかどうかのチェックに使用。)

コマンド

OrderDisplayPending.jspは、以下のコマンドを使用します。

- OrderProcess

- OrderSchedule
- MultiOrderProcess

bean

OrderDisplayPending.jspは、以下の bean を使用します。

- OrderDataBean
- OrderItemDataBean
- AddressDataBean
- ErrorDataBean
- ShippingModeDescriptionDataBean
- UsablePaymentTCListDataBean
- ContractDataBean
- TradingAgreementAccessBean

インプリメンテーション詳細情報

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客が「お客様のオーダー」の ShoppingCart.jspページで次へをクリックしてオーダー処理を開始すると一連のチェックアウト・ページに移動しますが、その中の 1 つがオーダー要約ページ (OrderDisplayPending.jsp) です。

```
OrderAccessBean orderABFinder = new OrderAccessBean(); //Retrieve all
Orders for this User Enumeration ordersABList = orderABFinder.findByStatusMemberAndStore("P",
userId, new Integer(storeId)); OrderAccessBean
next_order; ControllerCmdExecUnit
execUnit; TypedProperty iProperties =
commandContext.getRequestProperties(); String ToOrderId =
""; int counter = 0;
```

顧客が「お客様のオーダー」ページで選択した支払いメソッドに基づいて、支払い情報が動的に組み込まれます。これは、以下のコードで実現できます。

```
// use the paymentMethod parameter to find the selected PaymentTCInfo
<jsp:useBean id="usablePaymentTCs"
class="com.ibm.commerce.payment.beans.UsablePaymentTCListDataBean" scope="page" >
</jsp:useBean>
<%
usablePaymentTCs.setOrderId(new Long(orderRn));
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(usablePaymentTCs, request);
PaymentTCInfo[] paymentTCInfo = usablePaymentTCs.getPaymentTCInfo();
PaymentTCInfo selectedPaymentTCInfo = null;
for (int i = 0; i < paymentTCInfo.length; i++) {
if (paymentTCInfo[i].getLongDescription().equals(paymentMethod)) {
selectedPaymentTCInfo = paymentTCInfo[i];
}
}
...<%
incfile = storeDir + "" + selectedPaymentTCInfo.getAttrPageName()+".jsp";
%>
<jsp:include page="<%=incfile%>" flush="true"/>
```


このページには、顧客が自分のクレジット・カード情報を送信できるオプションが含まれています。UsablePaymentTCListDataBean を使用して、Payment Manager から利用可能なクレジット・カード名が取得され、フォームのアクションは、OrderProcess に設定されます。

顧客がオーダーを分割することを選択している場合は、このページに 2 つのオーダーが表示されます。顧客が**オーダー**をクリックすると、MultiOrderProcess コマンドが呼び出されます。MultiOrderProcess は、VIEWREG テーブルに登録されている表示コマンドで、MultiOrderProcess.jsp と関連付けられています。

MultiOrderProcess.jspは、オーダー要約ページのオーダー数に応じて、OrderProcess を複数回実行します。ToolTech のチェックアウト・フローでは、オーダー要約ページ内のオーダーは 2 つまでです。

注: オーダーが 2 つある場合、オーダーをスケジュールするオプションは表示されません。

顧客がオーダーをスケジュールされたオーダーにすることを選択して**Scheduled Order (スケジュールされたオーダー)**チェック・ボックスを選択すると、OrderSchedule コマンドが呼び出されて、顧客が指定したパラメータに基づいてオーダーをスケジュールします。オーダーがスケジュールされると、現在のオーダーに基づいて新規のスケジュールされたオーダーが作成され、現在のオーダーはそのままにしておかれます。この場合は MultiOrderProcess は呼び出されません。

```
function OrderSchedule()
{
var form = document.CardInfo;
var payInfo="";
var StartDate = date();
payInfo="pay_cardBrand="+form.cardBrand.value+"&pay_cardNumber=
"+form.cardNumber.value+"&pay_cardExpiryMonth=
"+form.cardExpiryMonth.value+"&pay_cardExpiryYear=
"+form.cardExpiryYear.value+"&pay_policyId="+form.policyId.value+"&start=
"+StartDate+"&interval="+form.interval.value+"&URL=
"+OrderOKView+"&notifyShopper=1&notifyMerchant=1"+"&poNumber=
"+form.poNumber.value;
return payInfo;
}
```

フォームが送信されて、オーダー処理が正常に実行されると、OrderOKView が呼び出されます。OrderOKView コマンドはデータベースの VIEWREG テーブルに登録されており、オーダーの確認のための情報を表示する Confirmation.jsp に関連付けられています。

顧客が**前へ**をクリックすると、Shipping.jsp ページに戻ります。


注:顧客が組織 A に属していて、合計オーダー金額が 1000 ドルを超えているときは、そのオーダーは送信の前に承認されなければなりません。承認条件は、組織 A に属する契約のみに記載されています。

エラー処理

エラーがある場合は、DoPaymentErrorView が呼び出されます。DoPaymentErrorView は、データベースで OrderDisplayPending.jsp に関連付けられています。そのため、エラーがあった場合は、オーダー要約ページ (OrderDisplayPending.jsp) がエラー・メッセージとともに再表示されます。

PO 番号に関してエラーがあった場合は、そのときの該当する例外に応じて ValidatePONumberErrorView または DoPaymentErrorView が呼び出されます。

ToolTech オーダー状況ページ (Business Edition)

 顧客はヘッダー・メニューの**オーダー状況**リンクをクリックして、オーダー状況ページ (TrackOrderStatus.jsp) にアクセスすることができます。「オーダーの状況」ページには、以下が表示されます。

- 承認待ちのオーダー
- 処理済みのオーダー
- スケジュール済みのオーダー

顧客はこのページで自分のオーダーの状況と詳細情報を見て、処理済みのオーダーのリオーダーおよびスケジュール済みのオーダーのキャンセルを選択することができます。

コマンド

TrackOrderStatus.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- OrderDetail
- OrderCopy
- ScheduledOrderCancel (スケジュール済みオーダーのキャンセル)

bean

TrackOrderStatus.jsp は、以下の bean を使用します。

- OrderAccessBean
- SchedulerOrderDataBean
- OrderDataBean
- SchedulerConfigAccessBean (スケジュール済みオーダーのジョブ参照番号を取得)
- AttributeValueDataBean
- AttributeDataBean
- CatalogEntryAccessBean
- ItemDataBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客がヘッダー・メニューの**オーダーの状況** リンクをクリックすると、OrderAccessBean がすべてのオーダーと各オーダーのプロパティを検索します。このプロパティには、状況、合計価格、オーダー日付、および購入オーダー番号が含まれます。

```
while (ordersList.hasMoreElements()) { next_order = (OrderAccessBean) ordersList.nextElement();
String orderStatusCode = next_order.getStatus();

//get purchase order number

String poNumber = orderDB.getPurchaseOrderNumber(); if (poNumber.equals("")) {
poNumber = tooltechttext.getString("Status_none"); }
```

承認待ちのオーダー

承認状態のオーダーの状況はすべて、以下に示すように W です。

```
if (orderStatusCode.equals("W"))
```

処理済みのオーダー

顧客が処理済みオーダーをリオーダーするためにリオーダー・リンクをクリックすると、OrderCopy コマンドによってそのオーダーがコピーされて OrderItemDisplay コマンドが呼び出されます。これによって「お客様のオーダー」の shoppingcart.jsp ページが立ち上がります。

```
OrderCopy?fromOrderId_1=<%=nextOrderId%>&toOrderId=.**.&OrderItemId_1=*&URL=OrderItemDisplay
```

処理済みのオーダーをフィルターに掛けて、その状況によっては表示しないようにすることができます。

```
if (orderStatusCode.equals("N") || orderStatusCode.equals("M") ||  
orderStatusCode.equals("B") || orderStatusCode.equals("C") || orderStatusCode.equals("R")  
|| orderStatusCode.equals("S")){
```

```
//get the date ordered String orderDateString; SimpleDateFormat formatter = new  
SimpleDateFormat("yyyy-MM-dd"); Date orderDate; orderDate =  
next_order.getPlaceOrderTimeInEJBType(); orderDateString
```

注:オーダー状況のコードについての詳細は、このページの下部にある関連参照リンクを参照してください。

スケジュール済みのオーダー

顧客がスケジュールされたオーダーを作成すると、そのスケジュール済みのオーダーは以下のコードを使って検索されます。

```
CommandContext commandContext = (CommandContext)  
request.getAttribute(ECConstants.EC_COMMANDCONTEXT); Long userId =  
commandContext.getUserId(); SchedulerOrderByMemberIdListDataBean orderABFinder = new  
SchedulerOrderByMemberIdListDataBean();  
orderABFinder.setDataBeanKeyMemberId(userId.toString());  
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(orderABFinder, request);  
com.ibm.commerce.order.beans.SchedulerOrderDataBean bnSchOrd[] =  
orderABFinder.getSchedulerOrderByMemberIdList
```

スケジュール済みのオーダーのそれぞれのインターバルは、以下のコードを使って表示されます。

```
SchedulerConfigAccessBean SchConBean = new SchedulerConfigAccessBean();  
SchConBean.setInitKey_jobReferenceNumber(bnSchOrd[i].getJobReferenceNumber());  
String Interval = ""; String frequency = SchConBean.getInterval()+"";  
if(frequency.equals("0")) Interval = tooltechttext.getString("OrderSum_Interval_6"); else  
if(frequency.equals("86400")) Interval =  
tooltechttext.getString("OrderSum_Interval_1"); else  
if(frequency.equals("604800")) Interval =  
tooltechttext.getString("OrderSum_Interval_2");
```



```

else if(frequency.equals("1209600")) Interval =
tooltechtext.getString("OrderSum_Interval_3");
else if(frequency.equals("1814400")) Interval =
tooltechtext.getString("OrderSum_Interval_4");
else if(frequency.equals("2592000")) Interval =
tooltechtext.getString("OrderSum_Interval_5");

```

スケジュール済みオーダーのオーダー状況はすべて I です。顧客がキャンセルを選択すると Java スクリプト・メッセージが表示されて、オーダーを本当にキャンセルしてよいか顧客に確認します。顧客がはいを選択すると、そのオーダーはキャンセルされて、顧客は TrackOrderStatus.jsp ページに戻ります。

顧客がいずれかのオーダーのオーダー番号リンクをクリックすると、オーダー詳細情報ページ OrderDetails.jsp が表示されます。

注: オーダー詳細情報ページはオーダー要約ページに類似していますが、支払い情報が含まれていません。

ToolTech オーダー状況コード (Business Edition)

Business 顧客がオーダー状況ページ TrackOrderStatus.jspを表示すると、自分のオーダーの詳細情報と状況を見ることができます。それぞれの状況は、「オーダーの状況」ページのテーブルに表示され、1文字で表されます。

以下のテーブルは、顧客に表示されるオーダー状況を定義したものです。

オーダーの状況	説明
N	オーダーの承認が拒否されました。
M	オーダーは承認されましたが、支払い与信が保留中です。
B	オーダーはバック・オーダーされています。
C	オーダーは承認済みで、支払いも与信済みです。
R	オーダーは配送の手配中です。
S	オーダーは配送済みです。
W	オーダーは承認保留中です。

ToolTech お客様のオーダー・ページ (Business Edition)

Business 「お客様のオーダー」ページ shoppingcart.jspには顧客のオーダーの内容が表示されます。このページはチェックアウト処理の最初のステップです。「お客様のオーダー」ページにはオーダーの中の各アイテムの、SKU、数量、説明、製造業者、部品番号、契約、および価格設定が表示されます。顧客は、オーダーからの新規要求リストの作成、数量の更新、オーダー・アイテムごとの契約の変更、およびオーダーからのアイテムの除去を行うこともできます。顧客は、チェックアウトに進む前に支払いメソッドを選択する必要があります。

ToolTech オーダー処理には、以下のページが組み込まれています。

- ShoppingCart.jsp (「お客様のオーダー」ページ)
- StandardCreditcard.jsp (支払い情報のパラメーターが含まれていますが、顧客には表示されません)

- SimpleCreditLine.jsp (支払い情報のパラメーターが含まれていますが、顧客には表示されません)
- AllocationCheck.jsp
- CheckProdAvail.jsp
- Shipping.jsp
- OrderDisplayPending.jsp
- Confirmation.jsp
- MultiOrderProcess.jsp

コマンド

ShoppingCart.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- OrderItemDisplay
- OrderItemUpdate
- ProductDisplay
- OrderItemDelete
- RequisitionListCopy

bean

ShoppingCart.jsp は、以下の bean を使用します。

- OrderItemDataBean
- OrderListDataBean
- UsablePaymentTCListDataBean
- FormattedMonetaryAmountDataBean
- OrderAccessBean
- OrderDataBean
- ContractDataBean
- AttributeValueDataBean
- AttributeDataBean
- ItemDataBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

「お客様のオーダー」ページ ShoppingCart.jsp は、顧客が以下のようにすると顧客に表示されます。

- メニュー・バーの**現行オーダー**をクリックする。
- 「アイテムの表示」ページでオーダーに追加する。
- 「要求リスト」ページで、要求リストをオーダーに追加する。
- 「オーダーの状況」ページからリオーダーする。
- 「クイック・オーダー」ページからオーダーする。

「お客様のオーダー」ページ ShoppingCart.jsp は、メイン・チェックアウト・ページ・コントローラー OrderItemDisplay.jsp から転送されます。 OrderItemDisplay.jsp は ShoppingCart.jsp を転送する前に、

顧客がオーダーを分割してオーダーを完了していないために、顧客に複数のオーダーがないかをチェックします。オーダーが複数あると、OrderItemDisplay.jspは OrderMerge を呼び出して、「お客様のオーダー」ページには常に 1 つのオーダーがあるようにします。

OrderItemDisplay.jspページの OrderDataBean は、顧客の保留オーダー情報を検索するときに使用されます。保留オーダーが複数ある場合は、これによって 1 つのオーダーにマージされます。

顧客に保留オーダーがない場合は、OrderItemDisplay.jsp に空のショッピング・カート・ページが組み込まれます。EmptyShopCart.jsp ページがロードされて、顧客にメッセージが表示されます。

```
if (!bHasShopCart) { incfile = storeDir + "Emptyshopcart.jsp"; }
```

顧客が配送先住所を選択していない場合は、ShipAddress.jsp が表示されます。

```
if (state.equals("shipaddress") || state.equals("newshipaddress") ) { incfile = storeDir + "shipaddress.jsp"; }
```

顧客が配送方法を選択していなくて page パラメーター shipmethod の場合は、Shipping.jsp が組み込まれます。

```
if (state.equals("shipmethod")) { incfile = storeDir + "Shipping.jsp"; }
```

顧客が**新規要求リス**をクリックすると、RequisitionListCopy によって RequisitionListUpdateView が呼び出されて RequisitionListUpdate.jspに転送されます。新規リストが作成されると、要求リストの RequisitionListDisplay.jsp ページが表示されます。

顧客が契約の選択や数量の変更でオーダーを更新することを選択して**更新**をクリックすると、OrderItemUpdate コマンドによってオーダー・アイテムが更新されて「お客様のオーダー」ページが再ロードされます。OrderItemUpdate は、顧客が**次へ**をクリックしたときにも呼び出されます。

```
<form name="ShopCartForm" action="OrderItemUpdate" method="GET"> <input type="hidden" name="orderId" value="*"> <input type="hidden" name="URL" value="OrderItemDisplay">
```

```
<input type="hidden" name="orderItemId_<%=counter%>" value="<%=orderItem.getOrderItemId()%>" >
<input type="text" name="quantity_<%=counter%>" size="2"
value="<%=orderItem.getQuantityInEJBType().intValue()%>">
```

顧客が支払いメソッドを選択してオーダーを更新した後に**次へ**をクリックすると、オーダーの処理を継続することができます。

エラー処理

支払いメソッドのドロップダウンが空の状態**で顧客が次へ**をクリックすると、エラー・メッセージが表示されます。「要求リスト名」フィールドがブランクの状態**で顧客が新規 要求リスト**をクリックした場合も、エラー・メッセージが表示されます。

ToolTech クイック・オーダー・ページ (Business Edition)

Business 顧客がナビゲーション・サイドバーの**追加のアイテムの入力**をクリックすると、クイック・オーダー・ページ QuickOrder.jspが表示されます。顧客はクイック・オーダー・ページでアイテムの SKU と数量を入力して、オーダーに追加することができます。数量が入力されない場合、数量はデフォルトの 1 になります。

コマンド

QuickOrder.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- OrderItemAdd
- QuickOrderView

bean

QuickOrder.jsp は、以下の bean を使用します。

- ErrorDataBean
- OrderDataBean

インプリメンテーション


注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客がナビゲーション・サイドバーに SKU を入力して **GO** をクリックすると、OrderItemAdd コマンドによってその SKU がオーダーに追加され、OrderItemDisplay URL にリダイレクトされます。次に OrderItemDisplay コマンドによって「お客様のオーダー」の ShoppingCart.jsp ページがロードされます。

顧客がナビゲーション・サイドバーの追加のアイテムの入力をクリックすると、QuickOrderView コマンドによって「クイック・オーダー」ページがロードされます。

顧客が送信をクリックすると、入力された SKU が有効な場合には SKU がショッピング・カートに追加され、「お客様のオーダー」の shoppingcart.jsp ページが表示されます。入力された SKU が無効の場合は QuickOrder.jsp が表示され、「クイック・オーダー」ページの上部に不適切な SKU のリストが示されます。

ToolTech 登録ページ (Business Edition)

 新規顧客がログオン・ページで登録をクリックすると、UserRegistrationNew.jsp ページが表示されます。このページを利用して、顧客はパスワード、優先言語、通貨を含めた個人情報を入力することができます。顧客が情報を入力し終わると、「アカウント」つまり UserAccount.jsp ページが表示されストアに参加することができます。

サンプル・ストアの登録の手順は次のファイルを使用します:

- UserRegistrationNew.jsp(登録ページ)
- UserRegistrationForm.jsp(UserRegistrationAdd コマンドのパラメーターを含む、しかし顧客には表示されない)
- UserRegistrationUpdate.jsp(登録の更新ページ)
- UserRegistrationAddPendingApproval.jsp
- UserAccount.jsp (アカウント・ページ)

コマンド

UserRegistrationNew.jsp は次のコマンドを使用します:

- UserRegistrationAdd

UserRegistrationUpdate.jsp は次のコマンドを使用します:

- UserRegistrationUpdate

UserRegistrationAddPendingApproval.jsp は次のコマンドを使用します:

- LogonForm

UserAccount.jsp は次のコマンドを使用します:

- UserRegistrationForm
- 住所録フォーム

bean

UserRegistrationNew.jsp は次の bean を使用します:

- ErrorDataBean
- CurrencyDescriptionAccessBean
- SupportedLanguageAccessBean
- LanguageDescriptionAccessBean

UserRegistrationUpdate.jsp 次の bean を使用します:

- UserRegistrationDataBean
- OrgEntityDataBean
- ErrorDataBean
- CurrencyDescriptionAccessBean
- SupportedLanguageAccessBean
- ResourceBundleDataBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客がログオン・ページの登録をクリックすると、UserRegistrationForm コマンドが呼び出されます。

UserRegistrationForm は、データベースの中でUserRegistrationForm.jspと登録されます。

UserRegistrationForm がnewというパラメーターで呼び出されると、UserRegistrationForm.jsp は、UserRegistrationNew.jspを組み込みます。UserRegistrationNew.jspは新規ユーザーの登録に使用されません。new パラメーターがない場合は、UserRegistrationForm は顧客の既存情報を更新するUserRegistrationUpdate.jspを組み込みます。UserRegistrationUpdate.jsp は、アカウント・ページからUserRegistrationForm に呼び出されます。

顧客が通過を選択する場合は、CurrencyDescriptionAccessBeanが、ドロップ・ダウン・リストで適切な値を事前に選択します。

顧客が言語を選択する場合は、SupportedLanguageAccessBeanが、ドロップ・ダウン・リストで適切な値を事前に選択します。そしてLanguageDescriptionAccessBeanが、ショッパーが現在選択している言語で言語の表示名を提供します。

顧客が組織を入力する場合、その組織がバイヤー組織 A のようなルート組織の下で直接に作成されていれば、その組織の名前を入力する必要があります。 入力する組織が組織単位であり、ルート組織のすぐ下に存在するわけではない場合、顧客は、組織単位名、組織名の順序で入力し、これら 2 つをスラッシュ (/) で区切る必要があります。

たとえば、識別名が以下のような場合があります。

ou=RD, ou=Sales, o=Sears, o=Root Org

顧客は、以下のように入力する必要があります。

RD/Sales/Sears

ToolTech は、UserRegistrationAdd コマンドを呼び出す前に、*o=* か *ou=* を追加することによって、上記の入力を識別名形式に変換します。 ルート組織のすぐ下にあるエンティティだけが *O* で表されます。他のエンティティは *OU* です。

無効な組織を入力すると、画面にエラー・メッセージが表示され、組織の入力方法についての指示が示されます。

顧客の登録が完了するとユーザー登録承認がその組織に設定され、顧客の状態は承認保留中になります。その時点で顧客はアカウントのセクション、つまり個人情報の更新や住所録の編集にアクセスが限定されます。バイヤー管理者の役割をもつ顧客が組織の管理コンソールを通じてユーザー登録の承認を行わなくてはなりません。組織の管理コンソールへのリンクは、ストアのホームページで表示されます。しかし、バイヤー承認者つまりバイヤー管理者の役割を持つ顧客にのみに表示されます。詳細については、下の関連リンクをご覧ください。

顧客が **Live Chat with Customer Assistance (顧客アシスタンスとのライブ・チャット)** をクリックすると、画面にポップアップ・ウィンドウが表示され、顧客はオンライン上で顧客サービス担当者とリアルタイムにチャットできます。このリンクは、この機能がストア・サービスで使用可能になっている場合にのみ表示されます。 **Live Chat with Customer Assistance (顧客アシスタンスとのライブ・チャット)** リンクは、カスタム・タグ (*ifEnabled* タグ) の本体内に含まれ、ストア・サービスで選択するオプションに基づいて使用可能または使用不可にすることができます。カスタム・タグが残されている限り、JavaServer Pages (JSP) を変更せずに、ストア・サービスを使用して、コラボレーション・サポートを持つサイトと持たないサイトを自動的に切り替えることができます。ページ内のコラボレーション・サポートを永続的に使用可能または使用不可にするために、ストア・サービスの GUI で **Apply Permanently (永続的に適用)** をクリックすることにより、JavaServer Pages (JSP) からカスタム・タグと **Live Chat with Customer Assistance (顧客アシスタンスとのライブ・チャット)** リンクを除去できます。カスタム・タグやタグのコードを手動で除去したり変更することはお勧めできません。その代わりに、ストア・サービスの **Apply Permanently (永続的に適用)** ボタンを使用してください。


注:Live Chat with Customer Assistance (顧客アシスタンスとのライブ・チャット) リンクの前後にあるカスタム・タグは、他のストアの JavaServer Pages (JSP) へコピーすることはできません。これらのタグは、元々それらのタグが含まれていたストアで機能することを意図しています。コラボレーションの詳細は、以下の関連リンクを参照してください。

エラー処理

登録中に顧客が必須フィールドの入力を完了しない場合は、エラー・メッセージが表示され、すでに入力されたものが再表示されます。エラーがある場合は、フィールドがすべて初期化されてブランクの状態になります。

UserRegistration_[locale].properties ファイルとUserRegistrationB2B_[locale].properties ファイル locale によって、どのフィールドが必須入力フィールドであるか決定します。
UserRegistration_[locale].properties は組織 C の顧客に使用され
UserRegistrationB2B_[locale].propertiesは組織 B の顧客に使用されます。

ToolTech 既存の要求リストへの追加ページ (Business Edition)

 既存の要求リストへの追加ページ AddToExistReqList.jspは、顧客が「アイテムの表示」ページ CatalogItemDisplay.jsp で要求リストに追加をクリックして既存ラジオ・ボタンを選択すると表示されます。

コマンド

AddToExistReqList.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- RequisitionListItemUpdate

bean

AddToExistReqList.jsp は、以下の bean を使用します。

- OrderAccessBean
- RequisitionDataBean
- PRequisitionByMemberIdAndStoreListDataBean
- SRequisitionByMemberIdAndStoreIdListDataBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客が「アイテムの表示」ページで**既存**ラジオ・ボタンを選択し、既存の要求リストを選択して**要求リストに追加**をクリックすると、既存の要求リストへの追加ページが表示されます。顧客がそれまでに要求リストを作成していない場合はメッセージが表示され、顧客に「アイテムの表示」ページ CatalogItemDisplay.jspに戻って、そのアイテムを新規要求リストに追加するように促します。

ログオンした顧客の所有するそれぞれの要求リストには、要求リスト名、最後に更新された日付、および共用リストか個人用リストかの区別が表示されます。 RequisitionDataBean と PRequisitionByMemberIdAndStoreListDataBean が、個人用リストをデータベースから検索します。

```
//My private lists
```

```
RequisitionDataBean[] requisitionListsP;
```

```
PRequisitionByMemberIdAndStoreIdListDataBean pReqListDB=new  
PRequisitionByMemberIdAndStoreIdListDataBean();  
pReqListDB.setDataBeanKeyMemberId(userRefNum.toString());  
pReqListDB.setDataBeanKeyStoreId(storeId);  
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(pReqListDB, request); requisitionListsP =  
pReqListDB.getPRequisitionByMemberIdAndStoreIdList();
```


```
for (int i=0; i<requisitionListsP.length; i++) {  
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(requisitionListsP[i], request); }
```

RequisitionDataBean と SRequisitionByMemberIdAndStoreListDataBean が、顧客の組織での共用リストをデータベースから検索します。 ログオンした顧客が所有しているリストのみが表示されます。

```
//All shared lists in my organization RequisitionDataBean[] requisitionListsSAll;  
  
SRequisitionByMemberIdAndStoreIdListDataBean sReqListDB=new  
SRequisitionByMemberIdAndStoreIdListDataBean();  
sReqListDB.setDataBeanKeyMemberId(userRefNum.toString());  
sReqListDB.setDataBeanKeyStoreId(storeId);  
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(sReqListDB,  
request); requisitionListsSAll  
= sReqListDB.getSRequisitionByMemberIdAndStoreIdList();  
  
for (int i=0; i<requisitionListsSAll.length; i++)  
  
{com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(requisitionListsSAll[i], request); }  
  
if (form.reqListId.length==null) { form.requisitionListId.value=form.reqListId.value; } else {  
for (var i=0;i<form.reqListId.length;i++) { if (form.reqListId[i].checked) {  
form.requisitionListId.value=form.reqListId[i].value; break;
```

顧客が要求リストを選択すると、 RequisitionListItemUpdate コマンドによって要求リストが新規オーダー・アイテムで更新されます。 RequisitionListUpdateView によって、「要求リストの編集」ページが新規オーダー・アイテムとともに表示されます。 RequisitionListItemUpdate コマンドが完了した後、ビューは RequisitionListUpdateView にリダイレクトされます。 RequisitionListUpdateView は、データベース内で RequisitionListUpdate.jsp に関連付けられています。

ToolTech 新規要求リスト・ページ (Business Edition)

 **Business** 顧客が「要求リスト」ページで**新規要求リストの作成**をクリックすると、「新規要求リスト」ページ RequisitionListCreate.jspが表示されます。顧客は新規リストの名前、および個人用にするか共用にするかを選択する必要があります。その後、新規リストに入れるアイテムの SKU と数量を入力することができます。

注: 顧客はこのページの要求リストあたり最大 30 アイテムしか入力できません。 さらにアイテムを追加したい顧客は、「要求リストの編集」ページを使用する必要があります。 顧客が有効な SKU を入力して数量をブランクにした場合は、数量はデフォルトの 1 になります。 SKU フィールドが空の場合は、数量フィールドは無視されます。

コマンド

RequisitionListCreate.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- RequisitionListItemUpdate
- RequisitionListUpdateView
- RequisitionListCreateView

bean

RequisitionListCreate.jsp は、以下の bean を使用します。

- ErrorDataBean
- ProductDataBean

インプリメンテーション

顧客が「要求リスト」ページで**新規要求リストの作成**をクリックすると、RequisitionListCreateView コマンドが呼び出されて、「新規要求リスト」ページ RequisitionListCreate.jspが表示されます。

RequisitionListCreateView は、データベース内で RequisitionListCreate.jsp に登録されています。以下のコードで示されるように、フィールドはすべて初期化されて空になります。

```
//Form is loading under regular condition. Initialize all fields to empty. strName = "";
strStatus = "Y";
```

```
for (int i=0; i<31; i++) { strPartNumber[i] = ""; strQuantity[i] = ""; } strPartNumber[1] =
partNumber; strQuantity[1] = quantity;
```

顧客が新規情報を入力して**保管**をクリックすると、RequisitionListUpdate コマンドによって新規の要求リストが作成され、そこに新規のアイテムが取り込まれます。次に RequisitionListUpdateView によって「要求リストの編集」ページがロードされます。その後、顧客は新規に作成された要求リストを編集して、タイプの変更、新規アイテムの追加、または数量の変更を行うことができます。RequisitionListUpdate.jsp は要求リストを編集するときに使用されます。

注: デフォルトの要求リストは個人用です。

エラー処理

誤った SKU や数量など、顧客が不正確な情報を入力した場合は、以下のように ErrorDataBean がページ上にエラー・メッセージを表示します。

```
if (strMessageKey != null && strMessageKey.length() > 0) {
// We have an error

strMessageParams = bnError.getMessageParam();
if (strMessageKey.equals(ECMessageKey._ERR_BAD_MISSING_CMD_PARAMETER)) {
strErrorMessage = tooltechttext.getString("Newreq_Error_Missing_Parameter");
} else if (strMessageKey.equals(ECMessageKey._ERR_GETTING_SKU)) {
TypedProperty nvps = bnError.getExceptionData();
if (nvps != null) {
String catEntryId = nvps.getString("catEntryId");
ProductDataBean prodDB=new ProductDataBean();
prodDB.setProductID(catEntryId);
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(prodDB, request);
strErrorMessage = tooltechttext.getString("Newreq_Error_ProdSKU")+prodDB.getPartNumber();
}
} else if (strMessageKey.equals(ECMessageKey._ERR_PROD_NOT_EXISTING)) {
strFieldName = (String)strMessageParams[0];
strErrorMessage = tooltechttext.getString("Newreq_Error_SKU") + strFieldName;
} else if (strMessageKey.equals(ECMessageKey._ERR_INVALID_INPUT)) {
strErrorMessage = tooltechttext.getString("Newreq_Error_Quantity")+jhelper.getParameter("quantity");
}
//Retrieve form data entered before
strName = jhelper.getParameter("orderDesc");
strStatus = jhelper.getParameter("status");
for (int i=1; i<31; i++) {
strPartNumber[i] = jhelper.getParameter("partNumber_"+i);
```

```
strQuantity[i] = jhelper.getParameter("quantity_"+i);
if (strPartNumber[i]==null) strPartNumber[i] = "";
if (strQuantity[i]==null) strQuantity[i] = "";
}
}
```

ToolTech 要求リストの表示ページ (Business Edition)

Business 顧客は「要求リスト」ページ RequisitionListDisplay.jspで要求リストを選択して、選択したリストの詳細情報を RequisitionListDetailDisplay.jspページで見ることができます。詳細情報にはオーダー・アイテムの、SKU、数量、説明、製造業者、および部品番号が含まれています。顧客はこのページで要求リストを選択してオーダーに追加したり、自分が所有している要求リストに加えて同じ組織内の他の人が所有している共有要求リストをすべて表示することができます。

注: 「要求リスト」ページで、顧客が他の人が所有している共有リストを選択した場合、顧客にはその選択した要求リストの詳細情報が表示されるだけです。顧客は他の顧客の要求リストを編集することはできません。

コマンド

RequisitionListDetailDisplay.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- ProductDisplay
- OrderItemAdd
- OrderItemDisplay
- RequisitionListView

bean

RequisitionListDetailDisplay.jsp は、以下の bean を使用します。

- ItemDataBean

インプリメンテーション

バイヤーが「要求リスト」ページ RequisitionListDisplay.jspで、他のバイヤーが所有している共有要求リストを選択すると、RequisitionListDetailView コマンドによって RequisitionListDetailDisplay.jsp ページが呼び出されます。

顧客が要求リストをオーダーに追加するためにリストをオーダーに追加 をクリックすると、OrderItemAdd コマンドによってそのオーダーがリストに追加されて、「お客様のオーダー」の OrderItemDisplay.jsp ページが呼び出されます。OrderItemAdd コマンドは、「要求リスト」ページの OrderItemForm と関連付けられています。

```
<FORM NAME="OrderItemAddForm" ACTION="OrderItemAdd" Method="get"> <input type="hidden"
name="storeId" value="<%=storeId%>"> <input type="hidden" name="orderId" value="."> <input
type="hidden" name="langId" value="<%=languageId%>"> <input type="hidden" name="catalogId"
value="<%=catalogId%>"> <input type="hidden" name="URL" value="OrderItemDisplay?orderId=*">
```

顧客が要求リストをすべて表示をクリックしてすべての要求リストを表示するようにすると、RequisitionListView コマンドによって「要求リスト」ページ RequisitionListDisplay.jsp. がロードされます。

ToolTech 要求リスト・ページ (Business Edition)

Business 顧客がヘッダーにある**要求リスト**リンクをクリックすると、「要求リスト」ページ `RequisitionListDisplay.jsp`が表示されます。顧客は要求リストのリストを見ることができます。これには、自分が所有しているすべての要求リスト、および同じ組織内の他の人が所有しているすべての共用リストが含まれます。顧客が行えるオプションとして、自分が所有しているリストの除去または編集、新規リストの作成、および別の顧客の共用リストの表示があります。

コマンド

`RequisitionListDisplay.jsp` は、以下のコマンドを使用します。

- `RequisitionListView`
- `RequisitionListUpdateView`
- `RequisitionListDelete`
- `RequisitionListDetailView`
- `RequisitionListCreateView`

bean

`RequisitionListDisplay.jsp` は、以下の bean を使用します。

- `RequisitionDataBean`
- `PRequisitionByMemberIdAndStoreListDataBean`
- `UserInfoDataBean`
- `SRequisitionByMemberIdAndStoreListDataBean`

インプリメンテーション

顧客がヘッダーにある**要求リス**・リンクをクリックすると、「要求リスト」ページ `RequisitionListDisplay.jsp`が表示されます。 `RequisitionDataBean` と `PRequisitionByMemberIdAndStoreListDataBean` が、ログオン・ユーザーが所有している個人用リストをデータベースから検索します。

```
//My private lists RequisitionDataBean[] requisitionListsP;  
PRequisitionByMemberIdAndStoreIdListDataBean pReqListDB=new  
PRequisitionByMemberIdAndStoreIdListDataBean();  
pReqListDB.setDataBeanKeyMemberId(userRefNum.toString());  
pReqListDB.setDataBeanKeyStoreId(storeId);  
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(pReqListDB, request); requisitionListsP =  
pReqListDB.getPRequisitionByMemberIdAndStoreIdList(); for (int i=0; i<requisitionListsP.length;  
i++) { com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(requisitionListsP[i], request); }
```

`RequisitionDataBean` と `SRequisitionByMemberIdAndStoreListDataBean` が、組織内の共用リストをデータベースから検索します。

```
//All shared lists in my organization RequisitionDataBean[] requisitionListsSAll;  
SRequisitionByMemberIdAndStoreIdListDataBean sReqListDB=new  
SRequisitionByMemberIdAndStoreIdListDataBean();  
sReqListDB.setDataBeanKeyMemberId(userRefNum.toString());
```

```
sReqListDB.setDataBeanKeyStoreId(storeId);
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(sReqListDB, request); requisitionListsSAll =
sReqListDB.getSRequisitionByMemberIdAndStoreIdList(); for (int i=0;
i<requisitionListsSAll.length; i++) {
com.ibm.commerce.beans.DataBeanManager.activate(requisitionListsSAll[i], request); } %>

//shared lists of others in my organization Vector requisitionListsSOther=new Vector(); %>
```

RequisitionListView コマンドによって「要求リスト」ページがロードされます。RequisitionListView は、データベース内で RequisitionListDisplay.jspに関連付けられています。JSP 内部で、RequisitionListsTypeForm に RequisitionListView のパラメーター *requisitionListsType* が組み込まれます。このパラメーターは、*All* または *Mine* になります。

顧客が他の人が所有している要求リストをクリックすると、RequisitionDetailView コマンドが呼び出されて、「要求リストの表示」ページ RequisitionListDetailDisplay.jsp が顧客に表示されます。RequisitionListDetailDisplay.jspでは、顧客として同じ組織内にいる他の人に属している共有要求リスト内のアイテムが表示されます。

顧客が自分の要求リストをクリックすると、RequisitionListUpdateView コマンドが呼び出されて、「要求リストの編集」ページ RequisitionListUpdate.jsp が顧客に表示されます。

顧客が**新規要求リストの作成**をクリックした場合は、RequisitionListCreateView コマンドが呼び出されて、「新規要求リスト」RequisitionListCreate.jsp が表示されます。

ToolTech ToolTech 要求リストの編集ページ (Business Edition)

Business 顧客は「要求リストの編集」ページ RequisitionListUpdate.jspで、自分の要求リストの編集を行うことができます。顧客は以下のことを行うことができます。

- 要求リストのタイプを変更する
- 新規アイテムを追加する
- アイテムの数量を変更する
- アイテムの詳細情報を表示する
- アイテムを除去する
- リストをオーダーに追加する

コマンド

RequisitionListUpdate.jsp は、以下のコマンドを使用します。

- RequisitionListUpdate
- RequisitionListItemUpdate
- OrderItemAdd
- OrderItemDisplay
- ProductDisplay
- RequisitionListUpdateView

bean

RequisitionListUpdate.jsp は、以下の bean を使用します。

- OrderDataBean
- ItemDataBean
- ErrorDataBean
- CatalogDataBean
- ProductDataBean

インプリメンテーション

顧客が要求リストのタイプを変更して**タイプの変更**をクリックすると、 RequisitionListUpdate コマンドが呼び出され、リストに新規アイテムが追加されます。 RequisitionListUpdate コマンドは、 RequisitionListTypeForm に関連付けられます。

顧客が要求リストに新規アイテムを追加して**追加**をクリックすると、 RequisitionListUpdate コマンドが呼び出され、リストに新規アイテムが追加されます。 RequisitionListUpdate コマンドは、 AddRequisitionListItemForm に関連付けられます。

顧客が「要求リスト」ページで、アイテムの数量を変更するために**数量の更新**をクリックすると、 RequisitionListItemUpdate コマンドが呼び出され、リストに新規アイテムが追加されます。 RequisitionListItemUpdate コマンドは、 UpdateRequisitionListItemForm と関連付けられます。

顧客がリストを**オーダーに追加**をクリックすると、 OrderItemAdd コマンドによって新規情報が検索されて OrderItemDisplay コマンドが呼び出され、これによって「お客様のオーダー」ページが表示されます。 OrderItemAdd コマンドは、 OrderItemAddForm に関連付けられます。

```
<FORM NAME="OrderItemAddForm" ACTION="CatalogItemAdd" method="post">
  <input type="hidden" name="storeId" value="<%=storeId%>">
  <input type="hidden" name="orderId" value=".">
  <input type="hidden" name="langId" value="<%=languageId%>">
  <input type="hidden" name="catalogId" value="<%=catalogId%>">
  <input type="hidden" name="URL" value="OrderItemDisplay?orderId=*&orderItemId_*&quantity_*">
  <input type="hidden" name="allocate" value="*n">
  <input type="hidden" name="reverse" value="*n">
  <input type="hidden" name="backorder" value="*n">
<%
for (int k=0; k<orderItemAB.length; k++) {
  Double quantity = orderItemAB[k].getQuantityInEJBType();
%>
  <input type="hidden" name="catEntryId_<%= k %>" value="<%= orderItemAB[k].getCatalogEntryId() %>" >
  <input type="hidden" name="quantity_<%= k %>" value="<%= quantity.intValue() ==
quantity.doubleValue() ? Integer.toString(quantity.intValue()) :
Double.toString(quantity.doubleValue()) %>">
<%
}
%>
</FORM>
```

エラー処理

「要求リストの編集」ページでは 3 つのタイプのエラーを扱います。顧客が 1245 などの誤った SKU 番号で新規アイテムを追加すると、以下のエラー・メッセージが表示されます。

入力した SKU 番号は無効です:1245

顧客が有効な SKU 番号と無効な数量 (-1 など) で新規アイテムを追加した場合は、以下のエラー・メッセージが表示されます。

入力した数量は無効です:-1

顧客がリストにあるアイテムの数量を、たとえば 2 から -1 に変更して更新した場合は、以下のメッセージが表示されます。

入力した数量は無効です:-1

そのアイテムの数量は変わりません。

顧客が **SKU** フィールドに、2345 などの製品 SKU 番号を入力し、アイテム SKU 番号が製品 SKU から解決できない場合 (たとえばその製品とアイテムの関係がない場合)、次のメッセージが表示されます。

次の製品 SKU 番号からはアイテム SKU 番号を解決できません:2345

サンプル・ストア・ページ: 共通インプリメンテーション手法

サンプル・ストア・ページの大部分は、以下のインプリメンテーション手法を使用します。このページでは例として InFashion ストアを使用しますが、すべてのサンプル・ストアに適用することができます。個々のページに対する特定の手法の詳細については、そのページの参照ファイルを参照してください。

多文化コンテンツ

サンプル・ストア・ページは、多文化コンテンツを表示するためにも使用されます。すなわち、同じページのセットは、幾つかの異なったロケールで使用することができます。多文化表示を使用可能にするコードの大部分は、getResource.jspに入っています。getResource.jspは以下のことを行います。

- コマンド・コンテキストから現在のロケールを検索し、locale 変数として、それを保管します。
- ストア・ディレクトリーを検索し、storeDir 変数として、それを保管します。
- ストア名を検索し、storeName 変数として、それを保管します。
- ResourceBundle API を使用して言語特定のプロパティ・ファイルをロードし、infashiontext 変数として、それを保管します。

JavaServer Pages (JSP) ファイルが上の変数をアクセスするには、getResource.jspは JavaServer Pages (JSP) ファイルに入っていないとなりません。これは、コンパイル時インクルード・アクションを使用します。

```
<%@ include file="include/getResource.jsp"%>
```

getResource.jspは、サンプル・ストア JavaServer Pages (JSP) ファイルのほとんどすべてに入っているため、単一要求で数回実行されることがあります。繰り返す必要がないように、このページに検索された情報の多くは、要求コンテキストに保管されています。例:

```
String storeDir = (String) request.getAttribute("storeDir"); String includeDir = (String)
request.getAttribute("includeDir"); String fileDir = (String) request.getAttribute("fileDir");
String bundleDir = (String) request.getAttribute("bundleDir");
```

```
String storeName = "";
```

```
if (storeDir == null) {
```

```
storeDir = sdb.getJspPath(); fileDir = sdb.getFilePath(); includeDir = storeDir + "include" +
"/"; bundleDir = sdb.getDirectory(); storeName =
```

```
sdb.getDescription(cmdcontext.getLanguageId()).getDisplayName();
request.setAttribute("storeName", storeName); request.setAttribute("storeDir", storeDir);
request.setAttribute("fileDir", fileDir); request.setAttribute("includeDir", includeDir);
request.setAttribute("bundleDir", bundleDir); }
```

言語特定メッセージ

「ご注文有難うございました」などの言語特定メッセージは、リソース・バンドル・プロパティ・ファイルに保管されています。これらのファイルは、以下のディレクトリーにあります。

NT

```
drive:¥WebSphere¥AppServer¥installedApps¥
WC_Enterprise_App_instance_name.ear¥wcstores.war¥WEB-INF¥classes¥storedir
```

2000

```
drive:¥Program Files¥WebSphere¥AppServer¥installedApps¥
WC_Enterprise_App_instance_name.ear¥wcstores.war¥WEB-INF¥classes¥storedir
```

AIX

```
/usr/WebSphere/AppServer/installedApps/
WC_Enterprise_App_instance_name.ear/wcstores.war/WEB-INF/classes/storedir
```

SOLARIS

```
/opt/WebSphere/Appserver/installedApps/
WC_Enterprise_App_instance_name.ear/wcstores.war/WEB-INF/classes/storedir
/opt/WebSphere/AppServer/installedApps/
WC_Enterprise_App_instance_name.ear/wcstores.war/WEB-INF/classes/storedir
```

400

```
/QIBM/UserData/WebASAdv4/WAS_instance_name/installedApps/
WC_Enterprise_App_instance_name.ear/wcstores.war/WEB-INF/classes/storedir
```

たとえば、ストア・ディレクトリーが “storedir” の場合、英語のプロパティ・ファイルは以下のようになります。

NT

```
drive:¥drive:¥WebSphere¥AppServer¥installedApps¥
WC_Enterprise_App_instance_name.ear¥wcstores.war¥WEB-INF¥classes¥
storedir¥¥infashiontext_en_US.properties.
```

2000

```
drive:¥Program Files¥WebSphere¥AppServer¥installedApps¥
WC_Enterprise_App_instance_name.ear¥wcstores.war¥WEB-INF¥classes¥storedir
```

AIX

```
/usr/WebSphere/AppServer/installedApps/WC_Enterprise_App_instance_name.ear/
wcstores.war/WEB-INF/classes/storedir/infashiontext_en_US.properties.
```

SOLARIS


```
/opt/WebSphere/AppServer/installedApps/WC_Enterprise_App_instance_name.ear/  
wcstores.war/WEB-INF/classes/storedir/infashiontext_en_US.properties.
```

このファイルのコンテンツは、JSP ファイル `getResource.jsp` から、Java `java.util.ResourceBundle` API を使用して、ロードされます。このバンドルは、変数 `infashiontext` として保管されます。言語特定メッセージは以下のように表示されます。

```
<title><%=infashiontext.getString("REGISTER_TITLE")%></title>
```

コンテンツ・エンコードの設定

最近のブラウザの多くは、UTF-8 でエンコードされた HTML データを理解します。ただし、旧式のブラウザの一部は、ネイティブ・エンコードしか理解できません。たとえば、旧式の日本語ブラウザは、“Shift_JIS” でエンコードされた HTML データしか理解できません。この問題を解決するために、サンプル・ストアは、プロパティ名 `ENCODESTATEMENT` で、リソース・バンドル・プロパティ・ファイルに言語特定のエンコード方式を指定します。たとえば、英語プロパティ・ファイル `infashiontext_en_US.properties` には、以下のエントリーが入っています。

```
ENCODESTATEMENT = text/html; charset=ISO_8859-1
```

個々の JSP ファイルに応じて、エンコードは以下のとおり JSP 要求オブジェクトを使用して設定されます。

```
<% response.setContentType(infashiontext.getString("ENCODESTATEMENT")); %>
```

HTTP ヘッダーはどの HTML コンテンツよりも前に送り出されるので、JSP ファイル中でのエンコード・タイプの設定は、できるだけ早く実行する必要があります。結果として、どの HTML コンテンツよりも後に、このコンテンツ・タイプ (HTTP ヘッダーとして送信される) を設定した場合には、所要の効果はありません。このブラウザは、適切なデータを表示できない可能性があります。

ヘッダー、フッター、および左のナビゲーション・フレームの組み込み

サンプル・ストア・ページのほとんどすべては、ヘッダー (`header.jsp`)、フッター (`footer.jsp`)、および左のナビゲーション・フレーム (`sidebar.jsp`) ページを表示します。これらは、以下の実行時インクルード・ディレクティブを使用して、他の JSP ファイルに入っています。

```
<% String incfile;
```

```
incfile = includeDir + "header.jsp"; %> <jsp:include page="<%=incfile%>" flush="true"/>
```

JSP ファイルの正確な位置が分かっている場合には、以下を使用して、インクルード処理が簡単にできます。

```
<jsp:include page="/storedir/include/header.jsp"/>
```

ここで `header.jsp` は Web アプリケーション文書ルートの `storedir` ディレクトリーにあります。

ToolTech コラボレイティブ・ワークスペース・ページ (Business Edition)

 登録済み顧客がヘッダーのコラボレイティブ・ワークスペースをクリックすると、コラボレイティブ・ワークスペース・ページ、`StoreCollabListDisplay.jsp` が表示されます。

注:このページを表示するには、コラボレイティブ・ワークスペース・フィーチャーが使用可能になっていて、顧客が登録済みでなければなりません。

コマンド

StoreCollabListDisplay.jspは、以下のコマンドを使用します。

- StoreCollabMembersDisplay

bean

StoreCollabListDisplay.jspは、以下の bean を使用します。

- UserRegistrationDataBean
- CollabManagerAccessBean
- UserRegistryAccessBean
- CollabSpaceBean

インプリメンテーション


注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客が ToolTech サンプル・ストア・ヘッダーのコラボレイティブ・ワークスペースをクリックすると、UserRegistrationBean は顧客が登録済みかどうかを検査します。顧客が登録済みの場合は、コラボレイティブ・ワークスペース・ページが表示されます。顧客は、自分が招待されているコラボレイティブ・ワークスペースのリストを見ることができます。各ワークスペースの名前、説明、および各ワークスペースのメンバーへのリンクが表示されています。顧客が登録されていない場合、その顧客はログオン・ページにリダイレクトされます。

ワークスペースの名前をクリックすると、顧客は QuickPlace サーバー上のコラボレイティブ・ワークスペースにリダイレクトされます。メンバーの表示リンクをクリックすると、顧客はそのワークスペースのメンバー・ページ、StoreCollabMembersDisplay.jspにリダイレクトされます。

注:顧客がどのワークスペースへも招待されていない場合、コラボレイティブ・ワークスペース・ページには、顧客がどのワークスペースにも招待されておらず、詳細はアカウント担当者にお問い合わせの必要があることをその顧客に通知するメッセージが表示されます。

ToolTech コラボレイティブ・ワークスペース・メンバー・ページ (Business Edition)

 コラボレイティブ・ワークスペース・ページでメンバーの表示をクリックすると、顧客はメンバー・ページ、StoreCollabMembersDisplay.jsp にリダイレクトされます。

bean

StoreCollabMembersDisplay.jsp は、以下の bean を使用します。

- CollabSpaceBean
- CollabManagerAccessBean
- UserAccessBean
- AddressAccessBean

インプリメンテーション

注: 多文化情報を含むすべてのサンプル・ストア・ページに共通なインプリメンテーション手法については、サンプル・ストア・ページ: 共通のインプリメンテーション手法を参照してください。

顧客がコラボレイティブ・ワークスペース・ページで**メンバーの表示**をクリックすると、StoreCollabMembersDisplay コマンドがメンバー・ページ、StoreCollabMembersDisplay.jspをロードします。顧客はこのページで、コラボレイティブ・ワークスペース内の各メンバーの名前、電話番号、E メール・アドレス、および役割を見ることができます。

第 6 章 ToolTech use cases

ToolTech サンプル・ストアの使用事例 (Business Edition)

Business ToolTech サンプル・ストアには、顧客が登録、ログイン、ショッピングを行ってオーダーを完了するまでを追った使用事例が付属しています。これらの使用事例は、ToolTech サンプル・ストアのフローを理解するのに役立てることができ、独自のストアの使用事例を作成するためのガイドとしても使用できます。

以下の使用事例が提供されています。

- 登録済み顧客によるログオンの使用事例
- 新規顧客登録の使用事例
- バイヤー承認の使用事例
- 個人情報更新の使用事例
- 新規住所追加の使用事例
- 住所録編集の使用事例
- 新規要求リスト作成の使用事例
- 要求リストへのアイテム追加の使用事例
- 要求リストからのアイテム除去の使用事例
- オーダーへのアイテム追加の使用事例
- SKU を使用したオーダー作成の使用事例
- 要求リストからのオーダー作成の使用事例
- 特定の商品検索の使用事例
- 繰り返しオーダー・スケジュールの使用事例
- オーダー送信の使用事例
- オーダー履歴表示の使用事例

登録済み顧客によるログオンの使用事例 (Business Edition)

Business この使用事例は、登録済み顧客がセラーの Web サイトにログオンする際のイベントの機能フローを説明しています。

はじめの状況

顧客は以前にストアに登録しており、サポートされているブラウザを使用してストア・サイトにアクセスします。

基本フロー

1. システムはログオン・ページを表示します。
2. 顧客はショッピング言語を選択し、**ユーザー ID** および**パスワード・フィールド**にそのユーザー ID とパスワードを入力します。
3. 顧客は**送信**をクリックし、情報が送信されます。
4. ログオンが終了すると、顧客はストアのホーム・ページに転送されます。

代替フロー


顧客はパスワードを忘れたので、パスワードをリセットしたいと考えています。

1. 顧客は**パスワードをお忘れですか?** リンクを選択します。
2. システムはパスワード忘れページを表示します。
3. 顧客はそのユーザー ID を適切なフィールドに入力します。
4. 顧客は**Send My Password (パスワードの送信)** をクリックし、情報が送信されます。
5. システムは顧客の E メール・アドレスにパスワードを送信します。
6. 確認のメッセージが表示されます。
7. パスワードを受け取ったら、顧客はログイン・ページに移ることができます。

例外フロー

顧客の E メール・アドレスがシステム内の E メール・アドレスと一致しません。システムは、エラー・メッセージを表示し、顧客に別のユーザー ID を入力することを促すプロンプトを出します。

新規顧客登録の使用事例 (Business Edition)

 この使用事例は、顧客が ToolTech ストアに登録する際のイベントの機能フローを説明しています。

はじめの状況

顧客はサポートされているブラウザを使用してストア・サイトにアクセスします。

基本フロー

1. システムはログオン・ページを表示します。
2. 顧客は**登録**をクリックします。すると、登録ページに転送されます。
3. 顧客は、「ユーザー ID」、「パスワード」、「確認パスワード」、「従業員 ID」、「姓」、「バイヤー組織」、「住所」、「市区町村」、「都道府県」、「国 / 地域」、「郵便番号」、「E メール・アドレス」、「希望する通貨」、「希望する通貨」フィールドと、必要なその他のオプションのフィールドを完成させます。
4. 顧客は**送信**をクリックして、情報を送信します。

例外フロー

1. 顧客は**バイヤー組織**フィールドをブランクにしておきます。
2. システムはその顧客をビジネス・ユーザーとして登録します。
3. システムは、顧客がデフォルト・ユーザーとして扱われ、ビジネス・ユーザーとしては扱われないことを示すメッセージを表示します。

完了後の状況

顧客はストアでショッピングを行うための、バイヤー承認者からの承認を待っています。

バイヤー承認の使用事例 (Business Edition)

Business この使用事例は、バイヤー承認者がストアでショッピングを行う顧客を承認する際のイベントの機能フローを説明しています。

はじめの状況

承認フィーチャーが使用可能になっており、顧客はストアに登録済みで、ショッピングを開始するために待機しています。バイヤー承認者はストアにログインしています。

基本フロー

1. システムはホーム・ページを表示します。
2. バイヤー承認者は**承認ツールへ移動**をクリックします。すると、「組織管理コンソール」に転送されます。
3. バイヤー承認者は**承認->承認要求**をクリックします。すると、承認保留中のバイヤーのリストが表示されます。
4. バイヤー承認者は顧客の情報の正確さを検証し、承認の要求を承認または拒否します。

完了後の状況

顧客に E メール通知が送信されます。

個人情報更新の使用事例 (Business Edition)

Business この使用事例は、顧客がその個人情報を更新する際のイベントの機能フローを説明しています。

はじめの状況

顧客は登録済みバイヤーで、ストアにログオンしています。

基本フロー

1. システムはアカウント・ページを表示します。
2. 顧客は**個人情報の変更**をクリックします。すると、登録の更新ページが表示されます。
3. システムは以前に入力された情報が含まれたフィールドを表示します。
4. 顧客は必要に応じてフィールドを変更します。(パスワード・フィールドを空のままにしておくと、現在のパスワードが保持されます。)
5. 顧客は**更新**をクリックし、情報が送信されます。

完了後の状況

システムが編集されたフィールドを更新します。

新規住所追加の使用事例

顧客は自分の住所録に新しい住所を追加することができます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は**新規住所の追加**をクリックします。システムは以下のフィールドのあるページを表示します。

- ニックネーム (NewFashion のみ)
- 名
- 姓
- 番地 (2 つのテキスト・ボックスで構成)
- 市区町村
- 都道府県
- 郵便番号
- 国/地域
- 電話番号

顧客はフィールドに情報を入力し、**送信**をクリックします。システムはアドレス・ブックに新規のアドレスを追加します (E1)。

代替フロー

なし

例外フロー

E1: 必須フィールドが欠落している場合

以下のフィールドが 1 つでも欠落しているとシステムはエラー・メッセージを出します。

- 名
- 姓
- 番地
- 市区町村
- 都道府県
- 郵便番号
- 国/地域

入力したニックネームが顧客の住所録にすでに存在する場合、システムはエラー・メッセージを報告します。

そしてその使用事例を最初から再開します。

住所編集の使用事例 (Business Edition)

 顧客はその住所録の住所を編集することができます。

実行者

顧客

メイン・フロー

顧客は編集する住所を住所録から選択します。システムは、選択された住所の詳細を検索して表示します。

- ニックネーム (NewFashion のみ)
- 名
- 姓
- 番地
- 市区町村
- 都道府県
- 郵便番号
- 国または地域
- 電話番号

NewFashion では、顧客が入力したニックネームがページの上部に表示されます。

顧客は必要に応じて変更を加え、送信をクリックします。システムはアドレス (E1) を更新します。

代替フロー

なし

例外フロー


E1: システムは、必須の情報が欠落していることを顧客へ通知し、以下を含む欠落情報を要求します。

- 名
- 姓
- 番地
- 市区町村
- 都道府県
- 郵便番号
- 国または地域

ニックネームがすでに住所録に存在する場合、エラー・メッセージが表示されます。

顧客は、欠落した必須情報を入力します。

新規要求リスト作成の使用事例 (Business Edition)

 この使用事例は、顧客が新規要求リストを作成する際のイベントの機能フローを説明しています。

はじめの状況

顧客は登録済みバイヤーで、ストアにログインしています。

基本フロー

1. 顧客はカタログから購入するアイテムを選択します。すると、アイテム表示ページに転送されます。
2. 顧客は、要求リストの項で、**新規ラジオ・ボタン**を選択し、**Add to Requisition List (要求リストに追加)**をクリックします。
3. 顧客は新規要求リスト・ページに転送されます。
4. システムは、要求リストの名前を入力するエントリー・ボックスと、「SKU 番号」および「数量」フィールドが含まれたページを表示します。
5. 顧客は必要な情報をフィールドに追加して**保管**をクリックし、情報が送信されます。

完了後の状況

新しい要求リストが作成されます。


代替フロー

1. 顧客はカタログから購入するアイテムを選択します。すると、アイテム表示ページに転送されます。
2. 顧客は**オーダーに追加**をクリックします。すると、お客様のオーダー・ページに転送されます。
3. 顧客は名前のフィールドに要求リストの名前を入力し、**New Requisition List (新規要求リスト)**をクリックします。すると、要求リストの編集ページに転送されます。

完了後の状況

システムは、新しい要求リストを作成し、現行保留オーダーのすべてのアイテムと現行数量をこの要求リストに追加します。

要求リストへのアイテムの追加の使用事例 (Business Edition)

 この使用事例は、顧客が既存の要求リストにアイテムを追加する際のイベントの機能フローを説明しています。

はじめの状況

顧客はストアにログインし、少なくとも 1 つの要求リストを作成済みです。

基本フロー

1. 顧客は任意のページで、ヘッダーの**要求リスト**をクリックします。すると、要求リスト・ページに転送されます。
2. システムは顧客の要求リストのリストを表示します。
3. 顧客は要求リストを選択します。すると、要求リストの編集ページに転送されます。

4. システムはその要求リスト内のアイテムと、新規アイテムの SKU 番号と数量を入力するフィールドを表示します。
5. 顧客はフィールドに適切な情報を入力します。
6. 顧客は追加をクリックします。すると、情報が送信されます。

完了後の状況

アイテムは要求リストに追加され、その要求リスト内の他のアイテムと共に表示されます。


代替フロー

1. 顧客はカタログから購入するアイテムを選択します。すると、アイテム表示ページに転送されます。
2. 顧客は、要求リストの項で、**existing (既存)**ラジオ・ボタンを選択し、**Add to Requisition List (要求リストに追加)**をクリックします。
3. 顧客は要求リストへの追加ページに転送されます。
4. システムは顧客の要求リストが含まれたページを表示します。
5. 顧客は要求リストを選択し、**Add to Requisition List (要求リストに追加)**をクリックします。すると、要求リストの編集ページに転送されます。
6. システムは、リスト内の現在のアイテムと選択された新しいアイテムを表示します。
7. 顧客は**オーダーの発行**をクリックし、要求リストが保管されます。

完了後の状況

アイテムは要求リストに追加され、顧客はオーダーを完了、あるいはショッピングを続行します。

要求リストからのアイテム除去の使用事例 (Business Edition)

 この使用事例は、顧客が所有している要求リスト内のアイテムを更新する際のイベントの機能フローを説明しています。

はじめの状況

顧客は少なくとも 1 つの要求リストを作成済みです。

基本フロー

1. 顧客は任意のページで、ヘッダーの**要求リスト**をクリックします。すると、要求リスト・ページに転送されます。
2. システムは顧客が所有している要求リストのリストを表示します。
3. 顧客は要求リストを選択します。すると、要求リストの編集ページに転送されます。
4. システムは選択された要求リスト内のすべてのアイテムを表示します。
5. 顧客は除去したいアイテムの横の**除去**をクリックします。

完了後の状況

要求リストが更新されます。

アイテム追加の使用事例 (Business Edition)

Business この使用事例は、顧客がオーダーにアイテムを追加する際のイベントの機能フローを説明しています。

はじめの状況

顧客はストアにログオンしています。

基本フロー

1. 顧客はホーム・ページから**カタログの参照**をクリックします。すると、メイン・カテゴリー・ページに転送されます。
2. 顧客はカテゴリーを選択します。すると、カテゴリー表示ページに転送されます。
3. システムは、選択された最上位カテゴリーとその下の主なカテゴリーが含まれたページを表示します。
4. 顧客は商品を選択します。すると、商品表示ページに転送されます。
5. システムは、選択された商品ライン内のアイテムが含まれたページを表示します。
6. 顧客はアイテムを選択します。すると、アイテム表示ページに転送されます。
7. システムは、アイテムとそのすべての属性が含まれたページを表示します。
8. 顧客は契約を選択して**オーダーに追加**をクリックします。顧客が契約を選択しないと、アイテムは最低価格の契約の下に追加されます。
9. 顧客は「お客様のオーダー」ページに転送されます。

完了後の状況

システムは、オーダーに追加された新しいアイテムが含まれたページを表示します。このアイテムが選択された最初のアイテムである場合は、このアイテムを含む新しいオーダーが作成されます。

SKU を使用したオーダー作成の使用事例 (Business Edition)

Business この使用事例は、顧客が SKU を使用してオーダーを作成する際のイベントの機能フローを説明しています。

はじめの状況

顧客はストアにログインしています。

基本フロー

1. 左のナビゲーション・フレーム内のクイック・オーダーの項にある **Enter SKU (SKU を入力してください)** フィールドに番号を入力し、**GO** をクリックします。
2. 顧客は「クイック・オーダー」ページに転送されます。
3. システムは現行オーダー用に入力されたアイテムが含まれたページを表示します。

完了後の状況

オーダーは、有効な SKU が入力されたそのアイテムで更新されます。現行オーダーがない場合は、新しいオーダーが作成されます。

例外

顧客が無効な SKU を入力すると、システムは、入力された SKU 番号がカタログ内で検索できなかったことを示すメッセージを「クイック・オーダー」ページに表示します。

第 7 章 ToolTech troubleshooting

ToolTech サンプル・ストアのトラブルシューティング (Business Edition)

Business このファイルでは、ToolTech サンプル・ストアをセットアップする際に生じる可能性のある一般的な事項を記載しています。詳細については、関連トピックのオンライン・ヘルプを参照するか、またはヘルプ・デスクに連絡してください。

2 回目の発行の際に ToolTech 発行が失敗する。

同じ組織を使用して ToolTech ストアが 2 度発行される場合、2 回目の発行は失敗します。これを避けるため、以下のようにしてください。

1. 管理コンソールを使用して新しい組織を作成する。
2. SAR ファイルを作成する際、ストア・サービスで、この新しい組織をセラー組織として使用する。

その上で、発行を行ってください。

注:バイヤー組織はストアの発行には使用できません。ToolTech ストアを発行する前に、ストア所有者として用いる新規組織を作成することをお勧めします。デフォルトの組織を発行に使用することはお勧めできません。

LDAP を構成する際に登録が失敗する。

ToolTech ストアに新規顧客を登録する際、WebSphere Commerce が LDAP と共に実行されるように構成されている場合には登録は失敗します。これは、バイヤー組織 A およびバイヤー組織 B がまだ LDAP にマイグレーションされていないためです。これを避けるには、以下のようにしてください。

1. ストア内の新規顧客を登録する前に、組織 A および組織 B を LDAP にマイグレーションする。
2. LDAP レジストリーと WebSphere Commerce とを手動で同期する。

バイヤー管理者役割用のバイヤー承認 GUI へのリンクが見えない。

バイヤー承認はバイヤー承認グループの設定によりストア内で使用可能になり、ユーザーにはバイヤー (購買サイド) およびバイヤー管理者の役割が割り当てられます。しかしストアへのログインの際、バイヤー承認 GUI へのリンクが見えません。これを避けるには、以下のようにします。

1. ストア用の WebSphere Commerce キャッシングをオフにする。キャッシュを使って実行していた場合、WebSphere Commerce および WebSphere Application Server (WAS) のキャッシュ・ディレクトリをクリーンアップする必要がある場合があります。
2. 顧客にバイヤー承認およびバイヤー (購買サイド) の役割を割り当てる。

これで、バイヤー承認 GUI へのリンクを見ることができるようでしょう。

注:オーダー承認に関しては、顧客はバイヤー (購買サイド) およびバイヤー承認者の役割を有している必要があります。

バイヤーの承認保留が、バイヤー承認 GUI で見えない。

バイヤー承認 GUI を呼び出し、 **Approval (承認)** リンクをクリックする際、顧客はバイヤー組織 A およびバイヤー組織 B の下で登録されているにもかかわらず、バイヤーの承認保留がありません。これを避けるには、以下のようにします。

1. 他のユーザーを承認するために使用しているユーザーに割り当てられている役割を検査する。
2. 承認者にバイヤー (購買サイド) およびバイヤー管理者役割が割り当てられていることを確認する。

注: オーダー承認に関しては、顧客はバイヤー (購買サイド) およびバイヤー承認者の役割を有している必要があります。

オーダーを分割する際に次のメッセージが表示される: **“Purchase order .. is not a predefined purchase order...” (購入オーダーが事前定義された購入オーダーではない...)**

購入オーダー (PO) 番号が分割オーダーのために使用される場合、エラーが生じ、そのオーダーは完了できません。これを避けるには、以下のようにします。

1. 個々の PO 番号を 1 度しか使用していないことを確認する。この番号を複数回使用するとエラーが生じます。
2. 固有の PO の代わりに、B1234567 のようなブランク PO を使用する。

注: ブランク PO は 2345 の下で購入されたオーダー・アイテムにのみ適用されます。

エディターから作成された配送モードを契約に組み込めない。

新規に作成された配送モードをビジネス関係管理 (BRM) ツールに表示するには、配送モード、および配送モード用のポリシーを配送ノートブックで作成する必要があります。契約がポリシーを確実に受け入れるようにするため、配送モード用のポリシーを手動で作成できます。

注: 配送ノートブックでは、新規配送モードの作成のみ行えます。

商品の除外されたサブカテゴリーがストアに依然として表示されている。

BRM 内の契約からサブカテゴリーを除外する場合、その除外したサブカテゴリーがストア内に依然として表示されます。サブカテゴリーをクリックすると、商品は表示されません。

少量のサブセットの商品のみを許可するよう契約を設定したにもかかわらず、すべての商品のオーダーが可能。

指定された契約の販売に含めるように 1 つのカテゴリーだけを選択しても、ストア・ページが表示される際に、すべてのカテゴリーおよび商品が依然として購入可能でオーダーできます。これを避けるには、以下のようにします。

1. バイヤー組織 A の使用を避ける。なぜなら、それはすべての商品がストア内で見えるようにするデフォルトの契約をサポートしているからです。より制限の多い契約は組織 A に影響を与えません。
2. バイヤー組織 B を使用して、このプロセスを繰り返す。

バイヤー組織 A のビジネス関係管理 (BRM) GUI には契約が 1 つあるが、ストアには 2 つの契約が表示される。

契約がバイヤー組織 A のアカウントを通してアクセスされる場合、バイヤー組織 A のアカウントはストアに 1 つの契約を表示しますが、バイヤー組織 A の下で登録された顧客は 2 つの契約として 1234 (デフォルトの契約) および 2345 を「アイテムの表示」ページに見ることができます。

バイヤー組織 A 自体は 1 つの契約を有していますが、デフォルトの契約のサポートが可能です。 GUI には、この組織に属している契約だけが表示されます。

バイヤー承認者 GUI からログアウトした後に、バイヤー承認者が ToolTech からログオフする。

バイヤー承認者が承認を保留している顧客を承認した後、GUI をログアウトし、ストアは停止します。これを回避するには、以下のようにします。

1. 再びバイヤー承認者としてログインする。
2. 「Buyer Approval GUI (バイヤー承認 GUI)」ウィンドウがクローズする際、ログアウトしない。

注: ストアが停止する理由は、cookie が 2 つのブラウザのウィンドウ間で共有されるためです。立ち上げた GUI からログアウトする場合、オリジナルのウィンドウからも自動的にログアウトします。

Request for Quotation (RFQ) (見積要求 (RFQ)) GUI をクリックすると、汎用アプリケーション・エラーが発生する。

RFQ リンクはすべての顧客からアクセス可能なものではありません。このリンクがアクセス可能になる前に、特定の役割を割り当てられることが必要です。このエラーを避けるには、以下のようにします。

1. ユーザーに割り当てられた役割を検査する。RFQ GUI にアクセスするには、バイヤー (購買サイド) 役割が割り当てられていること、および Internet Explorer 5.5 が必要です。
2. 各ユーザーが 1 つの組織にのみ属していることを確認する。
3. アクセス制御ポリシーを変更し、ユーザー・グループが組織の有効範囲から外れるようにする。これは、バイヤー役割を果たす人すべてが RFQ を作成できることを意味します。

その作業を行うには:

1. 管理コンソールに進む。
2. **アクセス管理**をクリックする。
3. **Policies (ポリシー)** をクリックする。
4. 下記のポリシーを選択する。
RFQBuyersForOrgExecuteRFQCreateCommandsOnStoreEntityDataResourceGroup
5. **変更**をクリックする。
6. ポリシー・ユーザー・グループを RFQ バイヤーに変更する。
7. レジストリーをリフレッシュするか、または WebSphere Commerce を再始動する。

注: RFQ に関連するその他の作業については、以下の関連リンクを参照してください。

特記事項

本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、他社の製品と組み合わせた場合の動作の評価と検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権（特許出願中のものを含む。）を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権の許諾については、下記の宛先に書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木 3 丁目 2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

Lab Director
IBM Canada Ltd. Laboratory
8200 Warden Avenue
Markham, Ontario
L6G 1C7
Canada

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この文書には、他社のインターネット・サイトへの参照を含む、他社製品の情報が含まれている場合があります。IBM は、そのような情報の正確性、完全性、または使用については何ら責任を負いません。

この製品は、SET プロトコルに基づいています。

米国政府機関ユーザーの権利の制限 - IBM Corporation との間の GSA ADP Schedule Contract により、使用、複製、および開示が制限されます。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

AIX	CICS	DB2
DB2 Extenders	Encina	HotMedia
IBM	iSeries	MQSeries

SecureWay
400

VisualAge

WebSphere

Blaze Advisor は HNC Software, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Lotus および Domino は、Lotus Development Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Oracle は Oracle Corporation の登録商標です。

SET および SET ロゴは、SET Secure Electronic Transaction LLC の商標です。詳しくは、<http://www.setco.org/aboutmark.html> を参照してください。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。



Printed in Japan